

1. 件名:川内原子力発電所運転期間延長認可申請(1、2号炉の運転の期間の延長)及び保安規定変更認可申請(1、2号炉の高経年化技術評価等)に関する事業者ヒアリング

2. 日時:令和5年5月16日(火) 13時30分~16時30分

3. 場所:原子力規制庁 8階北会議室(※一部TV会議システムによる出席)

4. 出席者:

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ

実用炉審査部門

塚部上席安全審査官、雨夜上席安全審査官、藤川安全審査官、

日高安全審査専門職、鈴木技術参与

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力建設部長 他20名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料:

- ・資料3-1 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請(審査会合における指摘事項の回答)
- ・資料3-2 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント反映整理表<コンクリート構造物>
- ・資料4-1 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント反映整理表<耐震安全性評価>
- ・資料5 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント反映整理表<耐津波安全性評価>

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の藤川です。それでは、信頼厳守発電所運転院長のヒアリングを開始します。九州電力さん資料に基づいて説明をお願いします。
0:00:13	九州電力の大浜です。よろしくお願いします。これから、1時間ほどコンクリート管、
0:00:27	コメント回答の、
0:00:29	資料を準備したのでご説明したいと思います。
0:00:32	資料二つございまして、一つは、
0:00:34	ポイントの形式
0:00:35	1、
0:00:40	資料はコメントリストが最初にありまして、補足説明資料の抜粋と、
0:00:48	主要日程。
0:00:49	ないように、
0:00:53	そういう内容です。
0:00:54	ムラオカとイデの方からご説明差し上げます。
0:00:57	お願いします。
0:01:01	すいません。
0:01:05	資料は、
0:01:07	本になります。
0:01:09	事項の回答報告、よろしくお願いします。
0:01:15	プリント関係。
0:01:21	と、2号原子炉、
0:01:23	床についてです。
0:01:29	今回、過去の試験、
0:01:31	過去、
0:01:33	その内容
0:01:37	お願いします。
0:01:41	資料。
0:01:42	2ページ目になります。右肩1ページ目。
0:01:47	こちらは今、
0:01:48	審査会合に
0:01:50	事故内容を記載しております。
0:01:54	内容は2ページ目の、
0:01:57	内容になります。
0:02:07	3ページお願いいたします。

0:02:12	3 ページ、考察内容としまして、際、3 月 14 日の審査会合資料を拝見しております。
0:02:20	になりますけども、審査会合に置き、
0:02:23	下の、
0:02:27	示している箇所。
0:02:32	止水構造
0:02:34	になりました。
0:02:35	相対的な
0:02:37	確認されます
0:02:39	その要因です。
0:02:42	しながら、今回、
0:02:45	ハタ 4 ページをお願いします。
0:02:49	このページでは今回の、
0:02:52	をお示しております。
0:02:54	谷アノコンクリートは供用期間中に水反応の進行によって、
0:02:58	強度増進が生じているものと、追加されておりました。
0:03:02	今回、
0:03:04	審査会合で、
0:03:05	設定いただいた、約 40 年経過した時、
0:03:11	採取したコアサンプルによる強度試験、
0:03:13	すべての部位、
0:03:15	研究者等々を満足していることが確認できたものの、相対影響度が確認されたことから、以下の 3 ステップで考察を行っております。
0:03:24	右のフロー図になりますけども、まずステップ 1 としまして、そもそもコンクリートがオノテの強度のばらつきを有しているかという確認を行っている。
0:03:34	一般にコンクリート構造物。
0:03:37	全国その他既設の原子力発電所と、一般の構造物ですけども、それらの強度がどの程度ばらつきを有しているか、また、それに対して瀬田原子力発電所におけるコンクリート強度のばらつきが載っている。
0:03:54	そのあと、
0:03:56	添付にいたしまして経年変動の有無とステーションについて確認を行っております。コメントいただきました、相対的な高度差がある部位につきまして、過去のちょうど試験結果、これは建設時とPLM範疇の結果になりますけども、それらと比較して年変動の有無、
0:04:15	その程度について確認を行っております。
0:04:18	次に、ステップ 3 としましてなぜ、ちょうど差が生じたか。

0:04:26	ここでは影響度に変動及ぼす要因を整理し、相対的な強度差が確認された部位ごとにその要因を考察しております。加えて、末尾に、ちょうどだけではなく、ちょうど同様、PLM30と比較が可能な劣化要因を整備し、
0:04:42	比較が可能な劣化要因については、10年変動の有無とその程度について確認を行っております。
0:04:48	左にアノ本忙殺のイメージをイメージ図を示しておりますが、STEP IIでは、時間軸での比較で、
0:04:55	間では、現時点におけるアプリと、
0:04:58	ページを設置しております。
0:05:00	続きまして、右肩5ページをお願いします。
0:05:06	まず、ステップ1。
0:05:08	なります。ここでは影響度のばらつき程度の確認を行っております。
0:05:13	左下に表を示しておりますが、全国の既設原子力発電所を対象にした調査結果に基づきますと、長土肥、これは設置基準強度に対する比でして、実強度を設計基準強度で割ることで求められます。
0:05:28	その調査費のあたりが、1から2、1.0から2.8程度の範囲でばらつきがありまして、その平均値は1.8ということが報告されております。
0:05:40	一方、一般構造物のちょうど時、これは平均で1.3程度とされておりました、
0:05:47	原子力発電所は品質管理に十分な配慮がなされていることから、その場としては、一般構造物比較して、高い傾向にあることが文献の中で報告されております。
0:06:00	今回、川内原子力発電所における強度比は、右下、し、右下の上で緑の棒グラフで追記しておりますが、今回の試験結果になりますけども、
0:06:10	1.0から2.8程度の範囲で、ばらつきがありまして、その平均値は行って、すなわち全国の既設原子力発電所と同様の傾向を示していることが確認されました。
0:06:25	相対的な高度差が確認された部分、これはコメントいただいたNIPPO技師の補助建屋の内壁及び床と自生構造物緩慢体ですけども、それらの調査費は平均で1.3程度でして、この辺りは一般構造物、まとまって、
0:06:46	と同等。
0:06:47	そして設計基準強度に対しては十分な融資等を有していることが確認されました。一度小橋別府市ではですね、
0:06:55	その時、観点から既設原子力発電所1から2.8程度のパランス共有しているということを普及していると。
0:07:04	報告確認された上でも、一般構造物制度へ一般ボーダー物の平均値程度は有しているというところを整理を行っております。

0:07:11	次、右肩 6 ページをお願いいたします。ここから、STEP II になりまして、コメントいただいた部分につきまして過去の試験結果と比較を行っております。まず、原子炉補助建屋内壁及び床の 2 号炉になります。
0:07:26	衛藤下に五つを示しておりますけども、左に 1 号炉、右に 2 号炉の結果になります。
0:07:32	1 号炉と合わせまして、
0:07:35	白文字建屋の各部位、外壁、内壁及び床ストラップ等につきまして、ここで建設時におけるソード試験結果と比較を行っております。
0:07:50	確認結果になりますけども、
0:07:52	コメントいただきました、内壁及び床、2 号炉、右、右の図の破線の中になりますけども、こちらにつきまして、
0:08:00	人事の比較。
0:08:01	若干の送信傾向が確認されております。
0:08:04	また、上記以外の部位につきましても、平均値の比較において建設時から、増進傾向が確認されました。以上から、原子炉補助
0:08:14	建屋につきましては、少なくとも、建設時から強度低下の傾向がないことを確認しております。下の図を少し補足させていただきますと、こちらは各部位コア、一本一本の兵庫県試験結果を示しております、合わせて、平均値と、標準へ、
0:08:33	をツジしております。
0:08:35	続きまして、すいません。7 ページをお願いいたします。
0:08:42	次は、取水構造物間問題になります。
0:08:47	こちら原子炉補助建屋等よう緩慢対策ではなく、海中待機渋滞といった他の部位とあわせて整理を行っております。
0:08:55	取水構造物、
0:08:56	につきましては、約 10 年前の PLM 範疇における強度試験結果との比較を行っております。
0:09:04	確認結果になります。
0:09:06	まず、海中タイプ気中帯、これらにつきましては、コアサンプル箇所は、壁や床といった、同一の杭でありまして、平均値及び標準偏差の比較において瘦身傾向が確認されました。
0:09:20	また、コメントいただきました 3 万台。
0:09:24	破線で囲っておりますけども、こちらにつきましては、PAM 範疇と PL40 で、壁や床といったものが異なりますので、異なる部位を含めた平均値の比較では、低下傾向が若干あるように見えますけども、
0:09:40	上に抜き出してます通り、PLM40 で集中的に田んぼを採取した同一区画の床に着目して比較をした結果、ばらつきはあるものの、概ね冒頭、
0:09:50	の結果があることが確認されました。

0:09:54	議長から、取水構造物、緩慢体につきましても、少なくとも、Nm30からの十年間で、濃度低下の傾向がないことを確認しております。以上がステップ 10 になります。
0:10:08	続きまして 8 ページ、お願いいたします。
0:10:13	ここからステップ 3 になりまして、ステップ II まで是定年による変動はないことを整理いたしました。各部位で、ちょうど差が生じていることは事実ですので、その要因について考察を行っております。
0:10:27	このページではコンクリート強度に検討を及ぼす主な要因を網羅的に整理をしております。上から、表になりますけれども、主要大量の影響、製造の影響、
0:10:40	運搬の影響、施工時の影響、上手発言特性という分類で、文献に基づき整理を行っております。
0:10:49	ただし上の本文中に戻りますけれども上から資料裁量製造、運搬
0:10:55	結構、これらにつきましては、今回コメントをいただいた分について、会沢ありませんので、下の強度発現特性、この違いによって、今回、相対的な強度差が生じたものと推定をしております。
0:11:10	詳細は次ページ以降でご説明させていただきます。
0:11:16	つきまして 9 ページをお願いいたします。
0:11:21	今回、相対的な強度差が確認された部位につきまして、狩野知、左下の上の表になりますけれども、黄色ハッチをかけている部分になります。2号原子炉は補助建屋内へ教育課と、修正構造物間も安泰です。
0:11:38	続きまして、ローマ数字 1 から 3 の部位同士の比較で考察を行っております。
0:11:45	前のページで述べました通り、影響度差が生じた要因は、強度発現特性の温度、水分、
0:11:52	影響は考えられます。
0:11:55	ただし温度の影響につきましては、右下に文献の図を示しておりますけれども、こちらは文献の中で、洋上温度が高温の場合、長期的な強度が送信しなくなる傾向があるということが文献の中で報告されておりますので、
0:12:11	そういうことが文献の中で報告され
0:12:14	チハラさんが考えられる要因の一つではありますが、今回、我々、今度、安保コンクリートの四角温度に関する明確な記録を保存しておりません。保存されておりましたので、
0:12:26	今回の考察におきましては、左下の表の赤枠内に示しております。水分部位、これらに着目して、詳細な考察を行っております。
0:12:38	ページをお願いいたします。
0:12:44	水分と杭のうち、まず水分の影響についてになります。ここでは対象部位ということで取水構造物の 3 万台と対中台の比較を行っており、
0:12:55	文献に基づきますと、海中体は外部から水分が大変、

0:13:00	される環境にありますので、ちょうど増進に寄与するセメントー水反応、こちらが継続的に進行し、相対的な影響度差が生じる傾向にあります。
0:13:11	海中代表的が平均値、テンジュウにAと看板体の強度式は平均値 1.72 で、およそ 1.1、菅その日海中タイプの看板体は、
0:13:22	添 1 に若干書いちゅうかの方が強度が高いことが文献によって報告をされております。
0:13:29	一方では、川内原子力発電所で
0:13:32	今回、考察を行って見たところ、海中タイプの看板とイシイなんですけども、それが 2 号機で 1.21、1 号機で 1.29 でして、
0:13:44	非常に類似した傾向が確認されたことから、川内においても、水分の影響により、相対的な競合差が生じたものと考えております。
0:13:54	すなわち水分の影響によって、緩慢体と比較して、外注体の強度が若干高くなっていると考えております。
0:14:02	続きまして、11 ページをお願いいたします。
0:14:08	こちらのページでは、部位による影響について考察を行ってございまして、対象部位は 1 と 3 ということで、原子炉補助建屋、
0:14:17	体験教育、1 号炉 2 号炉の比較と、取水構造物気中帯緩慢対策になります。
0:14:25	文献に基づき、スタッフになります。
0:14:29	あと、ちょうど発言特性の発災種類負債寸法のうち、特に部位につきましては、受注による集め効果の影響がある対策法のうち、
0:14:39	県の中におきまして、コンクリート打ち継ぎ 1 の最浅部と、最深部において、相対的な影響度差が生じる傾向にあることが報告されてございまして、およそ耐震部と再浅部の比、
0:14:50	これが 1.5 倍程度であることを文献から読み取っております。
0:14:55	まず、原子炉補助建屋内壁及び床につきまして、真ん中へイメージ図を示しておりますけども、1 号炉 2 号炉で若干コアの最終高さ関係にばらつきがありまして、
0:15:09	1 号炉は 1 本 1 次に近い値で高さで回収しておりますので、このうち次に 1 に近い、1 号炉は①、
0:15:19	打ち継ぎ力離れている地方のフォア 0203 及びA号炉の、コア 4
0:15:27	個 6、これらを比較した結果、その平均値の比が 1.67 でした。
0:15:35	同様に、取水構造物ですけども、こちらは壁から採取している気中帯と、床から廃止している菅万代の比較になりますけども、これは気中帯の質疑に近い箇所、
0:15:48	A1 号炉の子は 0203、そしてAホールの子は⑥ですけども、この平均値と、床のところは床上から採取しておりますので、
0:16:00	またこちら水効果が期待できません。ですので圧密効果の期待的な管板体の平均値を確認したところ、1.45 でした。

0:16:10	以上のことから、川内におきましても、この部位の影響によって相対的な競争が生じたものと考えております。すなわち、原子炉補助建屋につきましては一律同じ高さのうちから、
0:16:25	しているということと、看板体につきましては、自重による自重によるシミズ効果が期待できない床から排出していること、これらが要因として、相対的な操作が生じているものと考えております。考えられます。
0:16:43	ページをお願いいたします。
0:16:48	最後こちら、まとめになります。まずステップ1の結果から、川内原子力発電所における強度比のばらつきの平均値は、全国の既設原子力発電所と同様の傾向を示すことが確認されました。
0:17:02	また、コメントいただきました。相対的な調査が確認された部位のちょうど市の平均は1.3でして、一般構造物の強度比の平均
0:17:12	と同程度であり、設定基準強度に対しては十分な強度を有している等が確認されました。
0:17:19	続きまして相対的な強度さが確認された、原子炉補助建屋内壁及び里管板体については、今回紙PL40の試験結果と過去の試験結果を比較した結果、
0:17:30	概ね等々、もしくは、若干の増の送信の傾向が確認され、その他作りについては、すべて競合しの傾向が確認されました。
0:17:39	少なくともこれから経年により強度が低下している傾向がないことを確認しております。
0:17:46	最後に相対的な強度差がある部位については、調査の変動に影響を及ぼす要因のうち、主に、温度水分杭の影響があると推定されますが、このうち、水分と杭に関しては、
0:17:58	今回のちょうど試験結果をもとに分析した結果、文献等福井市の傾向を示していることから、これらの要因に伴い、相対的な共同差が生じたものとする。
0:18:09	られます。
0:18:10	以上が、コンクリート強度に関するコメント、大綱の内容になります。続きましてすいません最後、13ページという14ページ。
0:18:20	つけさせていただいております、こちらは、江藤参考として、強度だけではなく、その他の事象についても確認を行っております。
0:18:29	今回ちょうど同じように、過去の試験結果と比較可能な劣化要因につきましては、それを洗い出したところ、次、
0:18:41	評価している、中性化と塩分浸透でした。
0:18:45	つきましてはPLM版充当440にかけまして、やや増加傾向が確認されたものの、現時点において、強度低下に影響を及ぼす劣化は認められないことを確認しております。
0:19:00	14ページをお願いいたします。
0:19:07	中性化と塩分浸透につきましては、先ほど

0:19:10	取引が 30 から 40 にかけて、実測値でやや増加傾向が確認されたものの、下に述べております、推定式を用いることで、その増加傾向は適切に推定されていることを確認しております。
0:19:25	下のグラフになりますけれども、これはいちいち相談受けておまして、縦軸は、PLM範疇の結果に基づく今回の予測、横軸は、今回のPL日本中の結果になります。まず、中性化につきましては、中性化の、
0:19:41	深さの推定は、自治体式と森永式、これらを用いて評価を行っておりますけれども、ADL30 の環境庁は結果に基づく、40 年時点の中性化深さの推計値はばらつきはあるんですけれども、PLM40 の測定値と概ね一致していることを確認しております。
0:19:59	身体につきましては、鉄筋腐食結果の推定になりますけれども、
0:20:08	これは森永式を用いて評価を行っております。こちらの中性化同様にATF30 の塩化物イオンの測定結果に基づく、40 年時点の推定値はばらつきはあるものの、40pm40 の測定結果に基づく、
0:20:22	ちょっと概ね一致していることを確認いたしました。
0:20:25	以上が、参考として強度以外の劣化事象について確認した結果になります。
0:20:33	以上を踏まえまして、3 月 14 日の審査会合にてコメントいただきました、コンクリート強度の
0:20:41	経年、
0:20:42	経年変化についてに関する考察に関するご説明を終わらせていただきます。
0:20:54	一旦ここで切った方がよろしいでしょうかそれともう一つのコメント回答を続けてご説明差し上げてよろしい。
0:21:05	規制庁藤川です。一旦ここで切って、ちょっと質疑応答を挟みたいと思います。
0:21:11	注記しました。
0:21:13	ではここまでの説明で、質問、コメント等ありましたらお願いします。
0:21:23	原子力規制庁の小嶋です説明ありがとうございます。
0:21:28	確認事実確認をさせていただければと思います。
0:21:33	まず 5 ページですけれども、
0:21:35	この
0:21:39	図が二つ記載されております。
0:21:42	右側の、川内原子力発電所のばらつきと記載されているところはこれ、川内原子力発電所、
0:21:50	今回の
0:21:52	コンクリート構造物で、
0:21:55	特別点検を実施した中でのばらつきを示したということ。
0:22:01	認識よろしかったでしょうか。

0:22:12	九州電力の村岡です。
0:22:15	ご認識だと。
0:22:17	今回のところ、
0:22:19	を整理して、掲載させていただいてるものになります。以上になります。
0:22:26	原子力規制庁の小嶋です承知いたしました。
0:22:36	次に7ページの確認をさせてください。
0:22:42	ステップ2のところ、ここで海中体感万対気中帯のPLM3040の比較をされています。
0:22:54	この真ん中の干満単位のところですね、もう一度この確認させていただきたいんですけど、緩慢体についてはこの
0:23:03	下のグラフ二つですね、点線で囲われたPLM30とPM40と記載されているところ。
0:23:10	に対して、
0:23:12	上の同一区画の床による比較ということで、
0:23:15	この下、緩慢体は壁床やっているけれども、床による比較がある程度
0:23:23	何つうんでしょうバラ月井も少ないというか一定の条件で確認できるからそこを示したということでしょうか。
0:23:38	衛藤九州電力のムラオカになります。
0:23:41	もうおっしゃる通りの小西キーになるかと思えますPLの範疇では、やはり高亀4日後、
0:23:48	高丸井から採取をしております、今回いえる40では床のある方から集中的に廃止をしております。上に抜き出した理由としましては、
0:23:59	PAM30のときも、EL40と同じ床から廃止しているところ。
0:24:04	一つのコアで廃止をしておりましたので、そこで比較した結果、同等であるということをご説明させていただきます。
0:24:12	既存になります。
0:24:14	規制庁コジマで承知いたしましたその上でPLM様、つまり、
0:24:19	今は、私、
0:24:21	いろいろ言いましたPM30は、壁と床でやっていてPLM40は床のみでか、コアを取得したとそういうことで、床のところを、
0:24:33	比較したものを載せたということですね。
0:24:46	規制庁小嶋です。聞こえましたでしょうか。すいません、遅くなりました。九州電力のアノムラオカです。失礼いたしました。
0:24:54	おっしゃる通りのご認識でして、
0:24:56	今回特別点検としまして、
0:25:00	最も厳しい箇所から局所的に担保を採取しておりますので、その結果PL尿中としては床から集中的に判子を採取いたします。
0:25:10	比較するのは30感じ。はい。江藤。

0:25:14	比較してるのはPAM30の時に配置してる、同一の床部分でございます。以上です。
0:25:22	原子力規制庁の小嶋で承知いたしましたそこで、
0:25:26	この
0:25:28	上の、
0:25:29	点線の中に入っている枠のについての確認なんですけど、
0:25:35	この左側の30のところは三角一つずつしか書かれてない。これは30のところは平均のみを、
0:25:44	プロットしたということでしょうか。
0:25:49	九州電力の村岡です。それで我々の説明が不足しておりまして大変失礼いたしました。
0:25:55	三重の時はですね
0:25:58	大きく姿勢交通行為、
0:26:01	いくつか部屋に分かれているかと思うんですけども、
0:26:06	これはすみません、一つの
0:26:09	単位です、
0:26:10	幹事の常盤ですねあのエリア的に厳しい箇所から採取しておりますので、今回その40年で売った、集中的に抜いた場所は一つの箇所で集中的に見ておりまして、そこと比較。
0:26:24	範疇では、ゆ隠して、日本はできるんですけども、
0:26:28	場所的に見たときに、比較できるのはこの1本だけの値になりますので、日本だけの値を載せさせていただいております。
0:26:36	になります。
0:26:37	きちっとコジマです承知いたしました。
0:26:43	それについて何かちょっと厳しいかもしれないけど欄外に何かそのような記載って可能ですか何か何かこの、
0:26:51	ところに※1でも※2でも何かつけて、
0:26:55	するとした野末三角が二つずつあるので、
0:27:00	ちいの同一架空だっていうことがこの上の点線の中でもいいんですけどわかるようにすればいいのかなと思うので、
0:27:09	会合をご覧になった、
0:27:12	視聴者の方がわかりやすいように、そのようにされた方がな、いいかなと思いますけどいかがでしょうか。
0:27:20	九州電力の村岡です。
0:27:22	ご指摘ありがとうございます。
0:27:26	はい。規制庁小嶋ですよろしくお願いいたしますちょうど
0:27:30	空いてる部分がこの点線の

0:27:32	ところですが真ん中の辺り、点線の点線と点線の枠の間に幾つか開いたり、愛してるので、うまく枠空いてる余白を活用していただければと思いますよろしくお願いします。
0:27:45	続きましてこのページの、
0:27:47	米印のところで建設時の圧縮強度試験、保管されてなかったって記載されてんですけど、
0:27:54	アノと
0:27:56	当たり前のこと聞きますけれども、その時設計基準共同は満足していたっていうことは、
0:28:05	何かの記録では確認できるのでしょうか。
0:28:16	笹お待ちください。
0:29:10	専修大学の村岡です。大変お待たせいたしました。失礼いたしました。
0:29:14	おっしゃる通りですねすみません現時点ではすみません保存
0:29:19	しませんけども、その他の施工に関する記録等は非常に詳細に残っておりまして、建設時におきましては間違いなく、しっかりと支出を確保して施工されているものと考えております。
0:29:32	正しいすみませんここに記載している通り現時点では明確な、
0:29:38	保存されておられません。
0:29:41	以上になります。
0:29:43	はい、原子炉規制庁小嶋ですわかりました。
0:29:50	6月に現地、
0:29:53	調査に行くのでその時に、ここら辺のところを確認させていただくことは可能でしょうか。
0:30:01	九州電力の大隈です。
0:30:03	タカノ元、
0:30:05	藤江藤資料をですねちょっと
0:30:08	にした上で、
0:30:10	御説明ご提示ができる
0:30:13	と思います
0:30:14	以上です。
0:30:15	原子力規制庁のコジマで承知いたしました特に保管されてないことを確認するということではなくて、アノと当然ですけれども建設時、品質、先ほど問題なかったというご説明がございましたので、
0:30:29	そういったところを確認させていただくということになるかと思います可能であればよろしくお願いたします。
0:30:38	九州電力の大庭です了解しました。
0:30:52	原子力規制庁の小嶋です。それでは、11ページに行っていただきまして、

0:31:01	この 11 ページのところのコアサンプルの採取高さのイメージの図がありますけどその緩慢体の床と記載されているこの 12 号機の床の部分というのが先ほどの、
0:31:12	大体の同一THAIのところと 30 年 40 年ということで、ということと、もう一つのところドイツじゃない床のところっていうのは、どこだったかもう一度確認させてください。
0:31:30	緩慢体のドイツではない床のところと一時 30 年の時のです。
0:31:40	九州電力の方ですいません、ちょっと確認なんですけど、大きい 7 ページの、
0:31:47	中のところの、
0:31:50	はい。
0:31:51	植野グラフで書かれてない三角。
0:31:55	括弧ですかね、麻生でございますの三角は同一の床ということで、もう一つ下の
0:32:04	家、
0:32:05	点線の中では二つあるうち、
0:32:07	もう一つの三角の部分っていうのが、
0:32:10	どこだったかもう一度確認させてくださいということです。
0:32:23	さて九州電力、ムラオカ期いただきます。衛藤おっしゃられてます
0:32:28	図面は、
0:32:32	今、すいませんもう、
0:32:34	お渡ししている資料の中には、もう、
0:32:38	平面的にはお示しできるものはないですけど
0:32:41	私は特別点検の補足説明資料今お持ちでしょうか。はい、持っております。
0:32:48	提示をしていただければそこを見ますので、指定してください。
0:32:54	少々お待ちください。はい。
0:34:20	もう少々お待ちください
0:34:21	あ、はい、わかりました。
0:34:33	すいません。九州電力の田岡です。大変お待たせいたしました申し訳ありません。お手元に特別点検の補足説明資料をご準備よろしく願いいたします。特別点検なんですね。はい。わかりました。
0:34:46	特別点検補足説明資料の 44 ページ、まず 1 号木口号機側、44 ページをお願いいたします。
0:35:03	はい。4 ページ。はい。見ております。
0:35:07	はい。44 ページになりますけども、
0:35:12	すいません。
0:35:16	ちょうど

0:35:17	これ、緑が0になりますけども、
0:35:22	海水ポンプエリアでいきますと、
0:35:25	上から、つまり上から一、二、
0:35:28	目の小部屋のところで通知させていた。
0:35:33	はい。
0:35:36	これを見えるよ中道DM三重の別の部屋と申しますのは、
0:35:42	同じ海水ポンプエリアの部屋で見まして、さらに山越増子。
0:35:49	下の方にふた部屋から
0:35:50	阿呆。
0:35:52	気中帯の壁。
0:35:53	ここは、
0:35:55	すいません、図面に行きますと、
0:35:57	明日、
0:35:57	部屋、
0:35:59	あります。
0:36:01	なるほど部屋が全く違うということでございますね。
0:36:05	はい。おっしゃる通り、
0:36:11	はいわかりました。
0:36:14	ご説明された意味がわかりました古閑30年の時には二つた箇所、部屋の違うところで床を採取したというところの違い。
0:36:24	今回の比較したところは、同じ部屋のところの床について、
0:36:29	比較したということでございますね。
0:36:33	九州電力村岡ですご認識の通りになります。
0:36:38	規制庁コジマで承知いたしました。それと甲斐九州電力の大隈です2号分もですね、おんなじように、
0:36:47	M40で抜いた、
0:36:50	区画の部屋から二つ下がったところの部屋で抜いたデータが、おっしゃる。
0:36:58	原子力規制庁の小嶋です。わかりました1号と同じ考えということでもよろしかったでしょうか。
0:37:05	九州電力の大隈ですご認識の通りです。
0:37:09	規制庁のコジマですわかりました。
0:37:19	あと、規制庁のコジマですけど最後にもし、反発の方だとか、いわゆる非破壊の試験での、
0:37:28	考察みたいなものっていうのは何か気づき等があれば教えていただきたいんですけど、何かございましたか。
0:37:36	あった場合で結構です。

0:37:40	九州電力、
0:37:41	岡です。釈迦イイダ、
0:37:45	スズキ等はございませんでした、
0:37:48	はい西畑。
0:37:52	少し、
0:37:54	試験の方で傾向が整理されておりますので、破壊試験の結果を優先して注視いただいておりますけども、すいませんほぼ大きな気づきありませんでしたという。
0:38:07	はい、原子力規制庁の小嶋です。はい。わかりました。
0:38:13	すいません九州電力の大隈です。
0:38:15	高飯野。
0:38:17	ですね一応確認はしてるんですけども、過去の
0:38:22	試験結果に比べてですね、同等もしくはそれ以上、
0:38:29	原子力規制庁のコジマですわかりました。
0:38:32	いずれにしてもこのところでしっかりと考察をされたということと、非破壊のところについても、
0:38:41	何つうんでしょう、共同試験の結果から強度が確保されていることを確認したというふうに理解しましたけれどもよろしかったでしょうか。
0:38:52	はい。通州電カムラオカですご認識の通りになります。ありがとうございます。
0:38:58	原子力施設のコジマです。参考というところについてのちょっと確認をさせていただきたいんですけど、すでに説明はされたかと思えますけど14ページのところで、
0:39:09	最後のページですね。
0:39:11	下に二つの図がございます左側が中性化の推定、右側が塩分浸透の推定ということで、
0:39:19	右側の塩分浸透で横軸が今回PLM40 縦軸がPM30 と記載されておりますけれども、左側の中性化も同様に、横軸がPLM、40 縦軸がPLM 30 という、
0:39:33	理解をしたんですけども間違いはないでしょうか。
0:39:39	はい、九州電力倉岡ですご認識の通りになります。
0:39:44	九州電力の奥田では、
0:39:49	縦軸、
0:39:51	30年のPLMの
0:39:57	10年、
0:40:11	原子力規制庁の小嶋です。
0:40:15	縦軸の、
0:40:16	中性化深さは、今回の

0:40:22	等、
0:40:23	1030 年の時の、
0:40:29	次、実測値を使ったとかそういうことではなくてですか。
0:40:34	九州電力の大窪です。えっとですね、横地
0:40:39	40 年の実測。
0:40:44	4、40 年の頭へ添加物 4 両から
0:40:49	江藤三瓶氏、
0:40:53	プロットしてます横軸は、
0:40:56	事故は、
0:40:57	3、30 年のときの結果を使って、
0:41:01	20 年時点での、
0:41:03	今日、杉
0:41:06	なります。
0:41:09	てした。
0:41:11	40 年。
0:41:12	実測値と、
0:41:14	1100、
0:41:15	図示してます。
0:41:17	原子力規制庁のコジマですわかりました承知いたしました。今の塩分浸透の話をされたということですね。
0:41:25	そうですね。わかりました。
0:41:28	中性化についてもですね、同じでございまして、横軸は、40 年の実測値で、
0:41:36	10 年の
0:41:38	持ち、
0:41:39	40 年目を推定したと。
0:41:45	あ、はい、わかりました。
0:41:51	今、御説明が
0:41:54	いったところを、衛藤。
0:41:57	何かもう少し
0:42:02	会合のときに市長さんの方がわかるように、どこか記載していただくことは可能でしょうか。
0:42:09	同じような疑問を持つかもしれないので、
0:42:17	は、
0:42:18	あ、すいませんあの大きさにもイクサダでございます。今、
0:42:21	がおっしゃられたところなんですけど、
0:42:24	ちょっと

0:42:25	事故の説明がちょっと不足してるかなあとっております。文章の方にはですね中性化の二つ目のポツで、
0:42:34	PM30 次 30 次の環境測定結果に基づく、約 40 年時点で、中性化深さ、
0:42:42	継ぎ手値は、これは縦軸になりまして、ばらつきあるもののPM40 の測定値これが横軸になります。で、文書ではそういうふうになんて丁寧に書いたつもりですが、グラフのちょっと表記が、
0:42:57	そういう意味では、ちょっと不足してるかなと思いますので、少しそこを工夫する方向で、
0:43:04	思います。
0:43:04	既設のコジマです承知いたしました中性化については例えば横軸はPLM 40 で縦軸、
0:43:12	そうですねPLM。
0:43:14	34 日に基づくか。そうですね。
0:43:18	わかりました。何か説明のところで横軸と縦軸っていう形で書いてもいいかもしれませんうまく工夫していただければと思いますよろしくお願ひします。
0:43:30	はい。わかりましたえと、塩分浸透につきましても基本同じような考えで、縦軸は 30 年の測定値に基づく 40 年の推定になりまして、
0:43:42	横軸は今回 40 年目の測定値に基づく、これ、両方推定って書いてるのはですね腐食、
0:43:51	ように置き換えてるので、両方とも推定になってるのでちょっとややこしいんって、
0:43:56	もし、
0:43:58	わかりやすく、30 年 40 年と明記することで、ちょっと修正を行いたいと思いますよろしくお願ひします。原子力規制庁の小島です。承知いたしました塩分浸透についてはおっしゃる通りなので、
0:44:12	塩化物イオン量を基に推定式を用いて 40 年目の推定値を
0:44:20	それぞれ
0:44:22	計算したということ、は理解できますので、
0:44:27	そこについて
0:44:31	視聴者の方がわかるようにちょっと記載していただければと思いますどうかよろしくお願ひいたします。
0:44:38	はい、了解しました。
0:44:55	原子力規制庁の小島です。今は取水構造物のところ確認させていただいたんですけども、
0:45:04	原子炉補助建屋のところについて、6 ページのところですけども、
0:45:12	この
0:45:13	6 ページの、

0:45:16	建設時の数が多いように感じるんですけど、これは幾つぐらいの数を、
0:45:26	確認されたんでしょうか。
0:45:32	通信連絡のムラオカです。はい。おっしゃる通り、建設時数が多くなって おります。その理由につきましてはですね右下のところに書いて書かせ ていただいております通り、
0:45:44	明確に今回特別点検で採取した場所、ここだっていう、建設時の記録 は、
0:45:52	明確な
0:45:53	でしたので、江藤可能な限り小可能性のあるところをすべて拾っており ます。で、そのデータ数につきましては、大体その部位によって違いは ありますけども、10 から 15、
0:46:05	拾い上げております。以上になります。
0:46:08	原子力規制庁の小嶋です。わかりました。
0:46:17	はい。原子力施設のゴジマです私からの技術確認確認したいことは今 のところ以上でございます。説明ありがとうございます。
0:46:36	規制庁藤川です他に質問、コメントありましたらお願いいたします。
0:47:03	亀井ですが、ちょっとお伺いしたいんですけど、
0:47:07	最初に先ほど、
0:47:12	9 ページ目、7 ページ目でそれぞれ過去のデータの話があってその 7 ペ ージ目で取水構造物については、
0:47:21	データが、
0:47:23	ありませんということで、
0:47:25	登録の方、補助建屋の方は、
0:47:28	データが残ってますというご説明。
0:47:31	だと思えばよろしいですか。
0:47:36	はい。
0:47:37	村岡でございますご認識の通りになります。
0:47:41	はい。で、
0:47:43	一方その建設当時のデータってその検査とかの観点から、
0:47:49	残しておかなきゃいけないようなものもあると思うんですけど、取水構造 物で、
0:47:55	ところの、
0:47:57	記録が保存切れのためなくなってるという、
0:48:00	状態が発生、どういうことが発生するのかなというのがちょっと気になっ たんですけど補足の説明とお願いできますか。
0:48:12	はい。九州電力の村岡でございます。
0:48:14	推測の話になり大変恐縮なんですけども、ジャックアノ耐震自信あると 思いますけども、こちらが当時のものを確認しますと、

0:48:24	社会構造物はもう屋外土木重要土木構造物に該当すると思いますけども、これはあの当時の指針でいきますと、耐震重要度がAsからB。
0:48:34	クラスの対象になっておりませんで、一方で、建屋の方は、当然Asクラスとしての要求が求められておりますので、
0:48:43	正確な話になって大変恐縮ではあるんですけども、記録の保存の方法について、5時か提案を、土木構造物について、差異があったものと考えております。
0:48:53	以上になります。
0:48:56	はい、わかりました。
0:49:01	すいません、もう1点、
0:49:08	1ページ目のところで今回こうさしていただいたということで、一番下のところに、引用の文献を、
0:49:17	引いていただいていると思うんですが、すいませんちょっと不案内なんですけど、この文献というのは広く公開されて、
0:49:25	他の方も見れる文献ということでよろしいでしょうか。
0:49:32	九州電力の村岡でございます。おっしゃられたのはですね
0:49:39	土木構造物の耐震性能照査指針 2021 年度版の技術資料かと思えますけども、こちらは一般に広く公開されていると認識。
0:49:48	認識をしております。
0:49:52	はい。
0:49:57	いただきますとインターネット等でも
0:50:00	おそらく公開されていると考えております。
0:50:03	はい、わかりました。
0:50:07	あと、9ページ目のところで、今回その相対的な強度差に関する考察ということで、その要因を温度水分部位ということ。
0:50:19	を挙げられているんですが、これは先ほど言ったような文献に出ている要因なのかそれとも今回、
0:50:27	9電さんが独自でこういうものということで考えられたのかどちらでしょうか。
0:50:34	九州電力村岡でございます。こちらの温度水分部位に関しましては右肩でいきますと8ページになりますけども、一覧表を載せさせていただいておりますけども、
0:50:45	こちらの方はですね、日本建築学会の構造体コンクリートの品質に関する研究の統合の問題点という文献を参考にさせていただいております。先ほど申した文献とはまた別の文献を参考に、
0:51:01	整理させていただいております。
0:51:03	以上になります。
0:51:04	はい、わかりました。
0:51:10	それとあと14ページ目のところで、30年目と40年目の

0:51:17	中性化と塩分浸透の方で、
0:51:20	前村シートの方は、綺麗に載っていると思うんですが、
0:51:25	抽選主幹さんの方は、
0:51:28	30年目の方が大きく出てる。
0:51:31	データがあるんですが、これは何か分析されていますでしょうか。
0:51:40	九州電力の大隈です。
0:51:43	もちろん磁束ちいな。
0:51:47	強ある。
0:51:49	ハノイ
0:51:51	ミヤモトの
0:51:53	直線に、
0:51:55	思って分、
0:51:56	してるのが、一番、
0:52:00	姿だと思っております。
0:52:03	言ってただけですね
0:52:07	推定値の方がおっきくなってるしカクウ0があると思うんです
0:52:12	こちらについてはどちらかというと保守的な方で評価されてると。
0:52:17	しておりまして、ここを除くと、ある程度このヨシモトの線にとの、
0:52:23	かなり相場の高い
0:52:26	データになってるんじゃないかなと。
0:52:28	と思っております、
0:52:31	これで30年の間、観測点、
0:52:35	今回、
0:52:37	時点を予測したんですけども、
0:52:40	概ね大体、
0:52:42	階層間で、推薦してることができ、
0:52:47	して、
0:52:48	この結果に基づいて、
0:52:50	今後の
0:52:52	評価も、
0:52:53	行っていこうと、いうふうに考えております。以上です。
0:52:57	はい、わかりました。ばらつきの範疇ではないかと思えます。
0:53:02	わかりました。
0:53:04	あと先ほど星さんの方からも少しお話のあった社会のところなんですが、
0:53:12	もう2ページ目の指摘事項の内容を見ると、平甲斐。

0:53:18	試験の結果を整理してというのが加わってしまっている関係上ですね、多分、
0:53:24	どういう形かわからない。
0:53:27	アノはお任せしたいと思いますが、サッカーについても、
0:53:32	データに基づいて考察した結果を、簡単でも結構だと思しますので、ご説明いただければと思います。
0:53:49	少々お待ちください。
0:53:56	電力の大庭です。それでは
0:53:59	この資料の中にですね、先ほど小嶋さんからの質問に対するご回答し差し上げた内容をですね、
0:54:09	ちょっと記載を入れようかなと思いますが、よろしいでしょうか。
0:54:16	はい。それで結構だと。
0:54:19	と思いますが一方
0:54:23	データも見られていると思うので、ある程度その数字を出せという意味では必ずしもないんですが、データに基づいてちゃんと考察してますってことが、
0:54:33	わかるような形でご説明いただければいいと思います。
0:54:38	九州電力の大庭です。了解しました。
0:54:49	はい。あと最後なんですけどこれ単純な質問なんですけど、
0:54:55	その7ページ目の先ほどの、
0:54:57	抜いてるコア数の話で、
0:55:00	3衛藤40年目は同一から三つのコアを抜いて、
0:55:06	その平均値を出されてるということですが、衛藤さん10年目は、同一から基本は1本、
0:55:15	で見ているらっしゃるということで、
0:55:18	よろしいですか。
0:55:23	はい。九州電力の村岡でございます。同一時点で、30年目1本というよりはですね、例えば取水構造物看板対向40メートルほど幅広い
0:55:34	構造物になるんですけども、
0:55:36	PLの40、
0:55:38	30の方ではですね、エリア的には厳しい箇所を選定して、そこから1本1本1本抜いて、その三本団体を平均値として看板単位が全部して評価をしております。
0:55:51	特別点検を兼ねておりますので、
0:55:54	非常に奥歯にはその厳しいであろうアノ。
0:55:58	さらに精緻に上海市石毛試検を実施して、
0:56:03	場所を選定して、そこから集中的に繁忙抜いて、その結果を館ばったりなさいとして消化をしております。

0:56:13	どちらも
0:56:14	としては平均値半分の値を用いてはいるんですけども少しこのコア抜き方が異なるというところがございます。
0:56:21	以上です。
0:56:23	はい、わかりました。
0:56:26	はい。以上です。
0:56:46	規制庁フジカワですみません。今の話で、50年のときは30年のときと同じような、
0:56:53	コアの取り方になるんですか。
0:56:57	ちなみにいいですか。
0:57:01	少々お待ちください。
0:57:39	あ、九州電力の大隈です。基本的にはPL50についてはですね30と同じやり方かなというふうに考えてます。
0:57:49	もうビール40につきましては、特別設計兼ねてますので、そこをまたさらに包括し包括したところで、試料を採取して、そこで評価すると。
0:58:05	基本的にそう。
0:58:06	40年でコアを取る本数というのも大分、大分、
0:58:11	足局所的に多くの紋章と。
0:58:14	違うってところが、あるかと思います。なので20年でそこを取るとなると、
0:58:21	側溝がかなり最初はこんなら気になる状況になるかと思えますんで、
0:58:29	それも踏まえるとペルー、4、50では、PAM30と同じような箇所で評価をしていくのが理想的なんじゃないかというふうに考えております。以上です。
0:58:41	規制庁藤川です。はい。
0:59:08	規制庁藤川です。
0:59:09	すいません、5ページなんですけど、
0:59:13	5ページのポツの三つ目のところの、また、
0:59:19	ていうところまた相対的な強度差が確認された部位における小土肥は平均で1.3程度でってあるんですけどこれは、
0:59:28	下の図というか、どこに。
0:59:32	なりますかね。
0:59:36	接種電力のムラオカです。1年に一遍さんが右下の図でいくとトッコウに当たるかというご質問だと思いますけども、皆さんのこの右下の図でいきますとこれ文献の絵をベースに持ってきているんですけども、
0:59:49	その横の横軸が教授になっておりまして、0から3、町土肥0から3までを示しております。
0:59:58	川合岸上がですねこれほんまに、25になっておりまして、1.3と言いますのは、

1:00:08	ナカあたりに 1.2 と 1.4 のレンジがあるかと思えますけども、その中心、1.2 から 1.4 のところに該当いたします。
1:00:18	以上です。
1:00:22	9、
1:00:23	はい。ずーではここですねはい。
1:00:26	終わりました。
1:00:29	原子炉規制庁の児嶋です。今、藤確認したいのはその 1.3 っていうのは、
1:00:36	カマン体とか
1:00:40	補助建屋でサノあったところについて、
1:00:44	そこに、
1:00:45	焦点を当てて、
1:00:49	相対的な今日動作を確認すると 1.3 だったっていうふうに私は理解していたんですけどもそれでよろしかったでしょうか。
1:00:58	九州電力の村岡です。大変失礼いたし
1:01:03	コメントいただき、
1:01:04	反対の後に原子炉補助建屋、そのコメントいただいた津久井につきまして重複費を算出して平均したくてきました。
1:01:17	伊田です。
1:01:20	5 ページの右下のグラフにその辺わかるように追記いたしましょう。
1:01:26	そうですねはい。お願いします。
1:01:39	規制庁フジカワでそこは、
1:01:41	質問コメントと大丈夫です。
1:01:46	はい。コンクリーに関しては質問コメント以上になります。九州電力さんから何かありますか。
1:01:54	そっか。都築そうですね、すみません、コメント回答の方に、
1:01:59	ヤマダでしたね。
1:02:01	そちらに移っていただきます。
1:02:05	了解しました。引き続き、次のコメント回答をご説明したいと思います。
1:02:12	九州電力の井手といいます。よろしく願いいたします。
1:02:18	仕様が一緒になってる。
1:02:23	放映
1:02:26	で言いますと 18 番。
1:02:28	記載しておりますけれども、
1:02:30	こちら 1 号共通で、3 月 14 日の資料 1-3-1 の 46 ページ。
1:02:37	3 ページ目に関するコメントとしまして、
1:02:40	30 年目及び 40 年目高経年化技術評価結果の比較について、

1:02:45	評価点を詳細に記載して、各説明資料に追記することと、
1:02:49	コメントをいただいて、
1:02:52	リストに続いて、不足、
1:02:55	資料 1 号 2 号をそれぞれ添付させていただいております。
1:03:00	説明資料につきましてははですね、変更点のみを発生させていただいて、
1:03:07	先に 1 号炉後ろの方にゴールをつけてございます。
1:03:11	表紙のほうをめくっていただきまして、目次。
1:03:15	ご確認をお願いします。
1:03:18	下の方にですね別紙の 1 から、
1:03:22	衛藤。
1:03:24	項目を記載してございまして、下の方一番下の方に別紙 18 としまして 30 年目高経年化技術評価からの変更点についてというところで 18-1、
1:03:34	から、追加をさせていただいております。
1:03:38	1 枚めくっていただきまして右上、別紙 18 と記載してございますけれども、
1:03:45	30 年目高経年化技術評価からの変更点についてと、
1:03:49	にしております。
1:03:50	その内容ですけれども、
1:03:53	10 年、
1:03:56	内容は先ほど、
1:03:57	しまして、こちらの表につきましてははですね前回 3 月 14 日の
1:04:03	審査会合で、
1:04:05	お示しておりました資料 1-3-1 の参考にも、
1:04:10	オノをそのまま添付してござい
1:04:14	下の方に、添付 1 としまして 30 年目 5 経年化技術評価からの変更点の詳細ということで次のページをご確認いただきます。
1:04:25	右上、添付 1 のカッコ 2 分の 1、
1:04:28	けれども、
1:04:29	こちらにですね 30 年目高経年化技術評価からの変更点の所
1:04:35	なことを整理してございます。
1:04:42	項目でいきますと、
1:04:45	これは
1:04:50	続きまして、
1:04:54	照射量、
1:04:55	中性化、
1:04:57	完新統。

1:04:58	後認証、遮へい能力低下のね。
1:05:02	につきまして後は変更点と、
1:05:04	いうところの詳細な内容をお伝えし、
1:05:07	ございます。
1:05:09	2号の方につきましても、基本的には1号と同じ内容になってございますので、ご説明の方は割愛させていただきたいと思っております。
1:05:19	中央地区につきまして、説明は以上になります。
1:05:39	はい。規制庁フジカワ説明ありがとうございます。東電は実技に入らせていただきます質問コメント等ありましたらお願いします。
1:06:07	ちょっと駄目です。資料、
1:06:10	加えていただいてありがとうございます。この内容については、基本的にこれで結構だと思いますんで、
1:06:18	ちょっと1点だけ確認なんですけど、今回1次元モデルを二次元にしたとか、
1:06:24	いうことで、
1:06:27	書いてあるんですけど、その技術評価書の中で、実際、行動を何を使ってるというのが書かれていないと思うんですけど、
1:06:37	そこは書かないのは何か理由があるんでしょうか。
1:06:45	局の宇井でございます。江藤局申請中のですねそ
1:06:49	て資料になるんですけども、
1:06:52	衛藤。
1:06:54	1号炉側でいきますと、1号の劣化状況評価のですねえと。
1:06:59	資料の、
1:07:01	例えば熱に関しますコード。
1:07:05	記載につきましては、別紙の5。
1:07:09	そうですね。それは認識してはですね、技術評価書の方に、
1:07:16	そういう情報書かないのは、
1:07:19	ちょっとせ、先行先行といっても、他電力のかなり前の申請書、
1:07:24	技術評価書になりますが、見ていると、そのコードの、何を使っているという情報も書かれていてですね。
1:07:33	木野さんが書かれなかった理由が何かあるのかなと思ってお聞きしているんですか。
1:07:55	すいません
1:07:59	最近のですね、先行サイトさんの評価章も参考に記載し、
1:08:08	そこには記載されてなかったんで、結果我々も記載してないっていう。
1:08:15	評定す。
1:08:16	必要であれば記載することに特段、我々は議論はございません。
1:08:24	以上です。

1:08:25	はい、わかりました。運転期間延長日課の、
1:08:32	申請なので、取り扱いをどうするかというところだと思いますがお考えはわかりました。はい。
1:08:57	規制庁フジカワでそこは何かコメント等ありますか。
1:09:04	はい、特段ないので、衛藤。
1:09:10	コンクリーに関しては資料は以上です。
1:09:16	すいません九州電力の村岡でございます。申し訳ありません。点だけ
1:09:21	でもよろしいでしょうか。はい。
1:09:24	すいません。
1:09:25	先ほどね、
1:09:26	審査会合における指摘事項の回答強度につきまして、パワーポイントで
1:09:38	ご説明をさせていただきました審査会合指摘事項を受けまして、
1:09:40	いただきました。
1:09:40	はい。我々としてはですね劣化状況評価書の補足説明資料、ワードで
1:09:54	作成している方になりますけども、こちらにも当然ながら、
1:09:54	それが、
1:09:55	1号機と号機。
1:09:57	内容を分けてご提出をさせていただいており、
1:10:01	今回のちょうど、
1:10:04	こちらのデータ数は物を言う話になっておりまして、どうしても1号機と2
1:10:11	号機で分けることが難しい内容となっております。
1:10:11	ですので、もしよろしければ1号機と2号機、共通した内容として、それ
1:10:21	ぞれの補足説明資料に添付させていただきたいと思っておりますけども、
1:10:21	その認識でよろしいでしょうか。
1:10:23	はい。
1:10:25	規制庁藤川ですはいそれで結構です。
1:10:30	九州電力村岡です。
1:10:36	規制庁藤川です。九州電力さんから他に何かありますか。ちょっと待つ
1:10:47	て下さいね。
1:10:47	すいませんあと規制庁ツカベですが今回の
1:10:51	説明の話ではないんですが、
1:10:54	コンクリート構造物のその対象について、
1:10:59	クラス12とクラス3の交通を支持するというのが、
1:11:05	本壊すというのが、
1:11:07	入っているんですが、
1:11:10	これは、
1:11:12	なぜここ、高圧、

1:11:16	だけに、
1:11:17	限定しているかというのはご存知でしょうか。
1:11:23	ご存知でしょうかってか、考え方を教えてください。
1:11:33	収集ですけどムラオカになります。
1:11:38	我々としてはですね需要発生要件指導施設における高経年化対策審査ガイドに基づきまして評価を行っております、
1:11:46	そちらの1ページですかね。
1:11:50	の高経年化技術評価等の審査対象の中で、当然ながらその高温高圧に限らずすべてのものに関しては実施体制を審査されまして、
1:12:01	高経年化技術評価で実施手順及び実施結果が適切であることを審査されるのはクラス3の高温高圧に該当するものだと認識しておりますので、それらの観点から現在の評価内容となっております。
1:12:14	以上です。
1:12:16	はい。多分他の事象とか
1:12:20	江藤最初から聞き対象機器で外しては、
1:12:25	いなくてですね。
1:12:28	多分、全部難かった状態になって、
1:12:32	評価をした上で、直接管理方針が、
1:12:37	でなければ、技術評価書の方に書かなきゃいいという、書かなくていいという整理になってると思うんですけど、コンクリートのところは、最初から、
1:12:46	クラス12棟。
1:12:48	この高圧、
1:12:50	暗さの本高圧ということで、対象機器を限定してす。
1:12:55	検討されているように読めるんですけど、
1:13:00	そこは、
1:13:03	他の事象と並びを見て、ちゃんと整理されているんでしょうか。
1:13:11	すいません。九州電力のムラオカになります言葉足らずの凶なり、申し訳ありません。
1:13:16	劣化状況評価も細くて、
1:13:22	疲労の方になる
1:13:23	けども、
1:13:28	ベッショというものを整理しております。この中で我々コンクリート構造物に関する対象拘束性の代表の選定過程というものを整理しております、
1:13:39	この添付1の中で、当然クラス3も高温高圧高ありきではありませんので、抽出フローを定めて、定めて、
1:13:50	おりません。

1:13:52	先ほど申しましたようにクラス3の高圧以外の部分に関しても、実績評価項目として、最終的には整理をされております。
1:14:03	以上になります。
1:14:06	はい、わかりました。ただ、ちょっと下書いてある。
1:14:11	書きぶりだけを読むと、
1:14:13	そもそも技術評価から除外しているように読めてしまうので、
1:14:19	ただこれ自主的には、当然、
1:14:23	高校はじゃないところについても、
1:14:26	評価はされてますし、日常的な管理もされているという理解でよろしいですか。
1:14:34	九州電力ムラオカでそのご認識の通りになります。
1:14:38	はい。その場合
1:14:41	カンカン懲戒管理については管理ですね、日常的な点検というのは、
1:14:48	特段、
1:14:49	高経年化技術評価。
1:14:52	のものと、くべ区別なく行われているんでしょうか。それとも、何らかの違いがあるんでしょうか。
1:15:00	九州電力村岡でございます前者としてはもう区別なく実施しております。
1:15:07	はい、わかりましたありがとうございます。
1:15:18	はい。規制庁が規制庁フジカワです、規制庁側から質問。以上ですが、九州電力さん何か。
1:15:25	ありますか。
1:15:31	九州電力の一般でございますいろいろとご指摘ありがとうございます。パワーポイント資料につきましては、コメントをいただいた中で修正すべき点がいくつかあったかと思っておりますので、
1:15:44	そこは修正した上で、早めに、
1:15:47	報告したいと思えます。よろしく申し上げます。
1:15:50	規制庁藤川ですはい。よろしく願いいたします。
1:15:55	要は
1:15:56	続いて耐震の方に、
1:16:00	ちょっとメンバーチェンジがあるので、お時間いただきますが続いて耐震の方に移ってもよろしいでしょうか。
1:16:09	九州電力イクサダ、我々の方もちょっとメンバーチェンジいたします。よろしく申し上げます。
1:16:14	はい。
1:16:15	少々お待ちください。
1:16:19	規制庁藤川です。では耐震の方の説明についてお願いいたします。

1:16:27	はい。九州電力の福山でございます。それでは、耐震安全性評価、
1:16:32	米いただいてございましたコメントに対する回答についてのご説明をさせていただきます。
1:16:39	お手元にコメント反映整理書があると思いますけども、そちら、そちらに沿って、5 節
1:16:47	まず一つ目、コメントNo. のナンバーワンになります。
1:16:50	コメントの内容といたしましては、耐震安全性評価で適用する基準地震像。
1:16:56	続いて、審議を特定し、しない地震動Ss3 の扱いを含めて提示をすること。
1:17:03	コメントをいただいております。
1:17:06	回答といたしましては、まず申請時の耐震評価におきましては、S1 とSs2 を考慮した評価を実施しております、
1:17:15	ハウジョウとスペックを取り込んだ基準地震動による評価を実施しておりませんでした。
1:17:21	この標準症状とスペクトルを取り込んだ基準地震動につきましては、の、劣化状況評価への反映につきましては、
1:17:29	設置、
1:17:29	基準地震動が確定し、
1:17:32	工認の認可、
1:17:34	及び使用前確認が完了した後に、速やかに反映する方針というふうに考えてございます。
1:17:43	ナンバーツーお願いいたします。
1:17:48	日高です。江藤 1 個一つ一つでよろしいですかね、コメント。
1:17:57	問題ございません。
1:18:00	ここで言った
1:18:03	はい。
1:18:06	なるほど。
1:18:07	よろしくお願いいたします。はい。規制庁鈴木です。よろしくお願いいたします。
1:18:13	今ご説明のあった資料の耐震安全性評価の一番ですね。
1:18:19	これについてはご説明の内容についてわかりましたので、
1:18:24	次の資料に移ってください。
1:18:31	いたしました。
1:18:33	こちらはコメントございません。お願いします。
1:18:37	追加しました。
1:18:39	コメントNo.の 2 番に参ります。

1:18:43	いたしましては、30年目の評価以降に実施をしました改善措置、主給水管、
1:18:50	の配管。
1:18:51	工事の具体的な内容を提示すること。
1:18:54	旨のご指摘をいただいております。
1:18:56	説明としましては、まず(1)工事の鍵をお示しております。主給水、主給水は、配管につきましては、炭素合成の配管であったことから、
1:19:06	曲がり部に流れ加速型腐食の原因とは想定されておりました。
1:19:11	これを改善するために、当該部位の材質を元に傾向の小さい絵本銀行へ取りかえる補助を実施し、
1:19:19	しております。
1:19:20	工事範囲の設計条件ですけれども、機器の区分としてはクラス2配管。
1:19:26	大変プラスに入っております。
1:19:29	集音圧力につきましては、7.48MPa、
1:19:34	この間、SAの条件となっておりますけれども、
1:19:37	平成18.4%。
1:19:39	保証についてはABが200円、291度、平成が344となっております。
1:19:45	さらに5時半への、使用配管材料ということで、まず範囲としては主給水ラインの合流点。
1:19:51	から、格納容器の貫通部301303、305までの範囲のエルボ部になってございます。
1:19:59	適切
1:20:01	のてる部分につきましては材質はSTS-49であったところを、
1:20:06	SD作業80、同STPAの224、材質変更の日と補助実施してございます。
1:20:13	米印で記載しておりますけれども、
1:20:16	現在はそのとりにあらず現地で要請する箇所につきましては、デザインの溶接範囲は維持するために、東西の取り合いとしておまして、すべてで突合せ溶接にて施工を実施してございます。
1:20:30	1ページ以降にアイソメ図を示してございます。
1:20:36	後の一位がBCの主給水配管。
1:20:41	のアイソメ図でございます。添付の2、3が、倍増のA、
1:20:48	こちらは
1:20:50	工認審査を実施しておりますので、その際に添付資料として、提出させていただいている説明となっております。
1:20:57	添付の4につきましては、工認の添付として全部提出してございます。申請をしてございます。アイソメ図となっております。

1:21:08	難波通についての説明は以上となります。
1:21:13	規制庁鈴木です。本件についてですね3点コメントさせていただきます。
1:21:20	まず1点目ですが今設工認、
1:21:23	のお話ありましたけども、こちらとしてもとりあえず確認したいので、鳥栖設工認の図書番号とか、
1:21:32	タイトルですね、それを下の方注記か何かでもいいんですが、
1:21:36	付記していただけますでしょうかってのが1点目です。
1:21:39	続けて、2点目なんですが、
1:21:42	この今いただいている資料を見るとですね、
1:21:45	配管の口径とか、
1:21:48	板厚とか変わってるのかなあというふうに思うんですが、その理由ですね、例えば、従来の部分との接合上例えば、
1:21:59	口径と書いたと合わせるとか合わせないとかそういういろんな理由があるとは思いますがその辺を注記して、
1:22:08	おいていただきたいっていうのが2点目です。
1:22:10	それから3点目にですね、
1:22:13	この今添付の図アイソメやつとかやるんですが、
1:22:17	非常にパッと見てどこのところっていうのは理解してないとわからないんで、工事範囲っていうのをですね、
1:22:24	四角で囲うとか矢印するとかですね、特に
1:22:29	へー。
1:22:30	系統図の方なんかはですね、後任の方の資料はですね、
1:22:35	かなり小さい。
1:22:37	数字で数字も読めないところなんで、そこを何かこうクローズアップするようですね、記号なり何なり、
1:22:45	マーキングしていて、理解しやすいようにしていただきたいと、この以上3点コメントさせていただきます。
1:22:57	九州電力の福山でございます。3点とも承知いたしました。表、資料の方に、
1:23:04	反映をさせていただきたいと思います。
1:23:08	時間
1:23:11	規制庁日高です。すいません、事実確認だけお願いします。
1:23:16	現地で異材溶接を回避する理由って、
1:23:20	どのような理由なんでしょうか。
1:23:45	九州電力八木でございます。
1:23:49	異種溶接になりますと
1:23:54	増設する際に、

1:23:56	溶接方法はちょっと難しいということで、石野溶接の場合は、
1:24:01	交渉のほうでしゅんせつをした上で、バタリングっていうんですけども、それを設けた上で現地では同種溶接になるように、
1:24:09	持ち込んだ。
1:24:11	方法になります。
1:24:15	以上です。
1:24:22	す。規制庁鈴木ですがちょっと確認本件について確認です。今おっしゃった異材というのは、端側ほど抵抗銀行との異材という意味でしょうか。
1:24:37	STS480 と、なので現場が、
1:24:42	49
1:24:44	ですけど配管がSTPT24 になるんですけども、
1:24:47	STPA24 を現地に持ち込む等、SPS49 棟、24 の 1 種、いざになりますんで、工場の方で、
1:24:55	DS480、49 相当つけた上で、
1:25:00	現場
1:25:01	発電所では 49 と 480 の同種溶接になるように考慮した施工になります。
1:25:09	ですからちょっと下、各再確認ですが、て郷銀行と端側大戸がいざになるので、
1:25:17	その層位大部分は工場で行った上で現場では炭素行動しと。
1:25:22	いう溶接をするという意味で理解してよろしいでしょうか。
1:25:28	お会式の通りでございます。
1:25:30	はい、わかりました。
1:25:38	アノホデ
1:25:41	いやそうだ。
1:25:42	そういう総合点。
1:25:44	もう腐食に対して抵抗があるから、
1:25:47	ステンレスとかあと三光町だけで、
1:25:52	はい。次、よろしく申し上げます。
1:25:59	それではコメントの 3 番に参ります。
1:26:03	こちらは大きく、
1:26:05	耐震安全性評価上の最小厚さの定義を補足説明資料に提示することによってということで、す。
1:26:13	申請時の申請概要のパワーポイントの中で、30 年目の直接投資管理方針を記載しておりましたが、その中で必要最小厚さ計算というのと、PLM耐震安全性評価上の最小厚さ、
1:26:30	5 しか用いてございまして、これそれぞれの定義についてのご説明をするようにといったコメントをいただいていた本木ものとなります。

1:26:39	まず一つ目の 1、必要最初はさ、PSRについてですか。
1:26:43	こちらは配管の設計条件を踏まえて実施した強度評価。
1:26:49	頭、
1:26:50	必要な最初の圧がっております。
1:26:53	通常の保全におきましては、2 発管理においておいて、
1:26:57	用いた感じして、
1:26:59	ございます。
1:27:01	二つ目のビルも耐震安全性評価上の最小厚さ、
1:27:05	つきましては、配管肉厚、
1:27:08	減肉の管理を行ってございますので、この実測データをもとに算出した。
1:27:15	将来における推定のiPhoneの肉厚でございます。
1:27:22	PMの耐震安全性評価におきましてはこの値を用いて評価を実施しております。
1:27:27	またtsrまで減肉したモデルによる耐震安全性評価の結果、この評価を満足しない箇所があった場合には、この値を用いて、平成地価行っております。
1:27:38	それで評価を満足する、するということ。
1:27:42	場合がございます。
1:27:44	議論
1:27:45	耐震安全性評価におきまして、最小厚さを持ち、評価を実施した場所衛藤PLM耐震安全性評価上の最小厚さ、Sイデの肉厚を用いて評価を実施した保証につきましては、
1:27:59	保全における 2 パスの管理値をTSRから宗が 1 エミ直す必要がございますので、こういった箇所については、長期施設管理方針で当該箇所の肉厚係数、
1:28:10	及びその結果を用いた耐震安全性評価を実施するといった旨のことを記載させていただいております。
1:28:16	アオキで記載しておりますけども、今回の 40 年目の評価におきましては、すべて人達の厚さを適用した評価で、エコ満足してございますので、
1:28:26	直接管理方針に追加で記載をするものはなかったという結果。
1:28:31	説明となり、
1:28:34	はい。規制庁都築です。今のご説明わかりました。
1:28:39	コメントはありませんので、次に移ってください。
1:28:44	承知いたしました。
1:28:46	4 番、
1:28:48	アリマ、こちらは 30 年目の評価との相違点を整理し提示する。

1:28:54	こというコメントただ、
1:28:57	ええと、機器配管につきまして、1、2号炉の30、40年目の評価の結果の相違につきまして、
1:29:05	表の形で整理をしております。1枚めくっていただきまして、まず添付の1について、
1:29:13	江藤千田1号炉の清整理結果。
1:29:19	欠きの部分と、想定する経年劣化事象とそれぞれの機器名称と、それぞれの想定部位を記載しております、30、
1:29:31	こちらで抽出をしている箇所が、30年目と40年目のAの評価。
1:29:37	講演している場所を母数とした表となって、
1:29:41	その評価の相違をしている理由というのを、それぞれ、それぞれの箇所に記載しているものとなっております。
1:29:51	簡単にご説明をさせていただきますと、まず一番上のMSHの同位体についてですけれども、これ30年目におきましては、
1:29:59	腐食進行における機器の健全性の利益影響はないということで、評価の対象外としておりました。
1:30:07	原岩審査の整理等々も
1:30:09	ありまして、今回の今回の評価においては、参加文章として整理をして、耐震評価のさ、対象としてございます。
1:30:18	配管サポートについてですけれども、
1:30:21	こちらは4節分の評価になりますが、当該箇所に対するサポートの改造を実施しているということと、応力の組み合わせをとって、30年目の時には、SRSS法用いしましたが、
1:30:35	絶対和を用いた評価と、
1:30:40	次がFSCについてですけれども、
1:30:42	これらにつきましては、これ以降のコメント回答の中でもっと詳細に数値等々のお示しをしておりますけれども、
1:30:51	的には、解析条件の変更というのがございます。
1:30:55	主給水におきましては先ほどご説明をいたしました、材質の変更を行う補助を実施して、
1:31:02	レポート、
1:31:04	補助蒸気ですとか、二次系の連携と配管、こちらは長期施設間保守管理方針に記載をしておりました、甲斐富士の結果、評価計画。
1:31:15	またSE部アンケートについては、30年評価の時と代表を抽出する考え方。
1:31:23	の変更がございまして、
1:31:25	30年事業には、一次+二次のす応力最大点の疲労累積係数を記載するというようにしておりましたが、今回はいろいろ累積係数の最大の値を記載し、

1:31:38	明細が壊れた。
1:31:40	また後炉内構造物、こちらはイシイなりますけども、こちらはバッフルフォーマボルトの損傷の評価になっておりまして、
1:31:49	10年、
1:31:49	メモ衛藤村長数は0本だったんですけども、評価を保守的に実施しておりました。
1:31:55	これ、当該評価につきましても、直近の審査等々の整理を踏まえて、その職の人がゼロであるということ
1:32:02	新安全性の
1:32:03	上ホールすべき所から除外するという整理に変更しております。
1:32:09	次が、また、衛藤部長言うときの伝熱管についてなんですけども、評価に用いる板厚の変更、30年度は最小板厚%でしたが、
1:32:21	評価評価書内の機器と表衛生評価の、の考え方の整合性をとって変更しているのと、
1:32:31	評価に用いる場合ケース法についてですけども、こちらから、
1:32:36	この会計からピンクの丹啓人を実施しております。
1:32:41	続いてRVサポートの照射脆化についてですけども、こちらは衛藤、
1:32:46	30年目以降の運転実績を反映しまして、FBIの見直しを行っておりますので、この脆化による靱性のチェッカー、
1:32:55	の値が異なる。
1:32:59	訳が異なっております。
1:33:01	柘植工場負傷についてすべて基礎ボルトについての評価の層位になりますけども、まず海水ポンプについては、取りかえの方にも踏まえて、掘るとせん断評価を実施不要としてしました。
1:33:18	しました。で、海水ポンプの取りかえ、本人におきましてもボルトの接合部とか、の、
1:33:28	水平の地震力よりも大きくなるという結果になっておりましたので、これ、これらを踏まえてよく話しているものが、
1:33:37	多分燃取担当につきましては、3、31。
1:33:42	新規製の購入審査中でした。設置高さが同等となるその時間は建屋モデル、
1:33:49	2点評価をまず実施を、30年時は実施しておりましたが、40年におきましては、もう新規制基準の方に評価されておりますので、屋外タンクの基礎の建屋モデルを用いた評価を実施しております。
1:34:03	次担保につきましては応力の組み合わせの変更ということで、絶対分かれたSsの変更となっております。
1:34:11	トーン
1:34:12	緊急対策用の発電機車用の9本、

1:34:16	あと燃料用長短外については、新設の説明等で日置総理が出ておりま す。
1:34:21	盗取急性経済管については、解析条件の変更ということで、こちら 30 年時には、評価が厳しくなるでしょうございましたので、時刻歴による評 価を実施しておりましたけども、
1:34:34	30年4月ピットモデルほぼよく、
1:34:37	転倒評価を実施している
1:34:39	パイプの取りかえを実施していることから、そういうわけでございます。
1:34:43	最後ですけども、伝熱管の腐食についてです。
1:34:47	PAM30円。
1:34:49	評価においては、この技術評価の方で、塔婆磯、劣化については、
1:34:56	復籍工学感度
1:34:58	で示されている知見を用いまして、赤い色発生限界流速とかアンリュウ 所流速っていうの、
1:35:08	こうした結果その知見と、
1:35:09	当該事象が発生しないという整理をしておりました。
1:35:13	なので単身不要金というふうに反応しておりましたが、その後の
1:35:18	審査等々で、当該知見を使わないような評価を実施している、バントが 多くなっておりまして、なお、それらを整理を踏まえまして我々、我々とし ても、
1:35:30	あと川合事象を江藤勝さんか久慈所として整理し直しをしまして、
1:35:35	その結果、耐震評価を実施する。
1:35:39	女性の方はなっております。
1:35:44	めくっていただきまして、2号炉についてです。
1:35:50	次は、1号機と同様になりますので、衛藤。
1:35:59	追加で、
1:36:01	ちょっとご説明する箇所は、
1:36:03	2ヶ所、2ヶ所だけご説明いたします。まず、低圧の第3給水管です。
1:36:10	こちらはちょっと、
1:36:12	30年評価では機器の取りかえ前でしたんで、
1:36:15	40年目の評価においては取りかえ後でしたので、投票を実施しており ます。
1:36:20	それとあと、
1:36:22	機械設備の腐食のところで、主蒸気系統配管の基礎ボルトについてで すけども、
1:36:28	型式、
1:36:30	日本してグルーピングして、円筒面と、
1:36:34	全国で発生する荷重を算出するってことをやっておりますけども、

1:36:41	元に対する赤瀬グループの、
1:36:43	当初本は 30 年度は検討視点を本コメントの中立軸。
1:36:51	という話でしたので、今回はボルトの担保。
1:36:55	を検討して日本を取るという承認をしております、
1:36:59	それらによるし、そのことによる代表の検討が変更になったということ で、それが生じて、
1:37:06	あります。
1:37:10	についてご説明以上です。
1:37:17	規制庁の鈴木です。
1:37:20	このNo. 4 の資料のご説明についてですね、いくつかコメントをいたしま す。
1:37:27	まずですね。
1:37:29	相当にですね、
1:37:32	この地震と評価用地震動は異なるけれども、共通だから、ここの資料 2 の記載は省略すると。
1:37:40	を書かれてるんですが、
1:37:43	やはりこの、この資料自体のですね、自己完結という意味ではですね、 この地震動が異なるところはどういうものかっていうのをですね、
1:37:51	関連する資料があればそれを呼び込む、ひもづけするか、或いはその 異なる概要、要点をですね、この資料の中に、
1:38:01	記載していただきたいというふうにもまず思います。
1:38:04	この方が記載の充実という意味です。
1:38:08	それからですね。
1:38:10	ちょっとこれ確認なんですけど、今回の相違点の中でですね、1 点ちょっと 漏れてないかなあというのがありますがそれは
1:38:21	30 年目評価ではですねニジュウマル評価でやってるラッチハウジング リップハウジングの疲労割れというのがですね、今回の 40 年目評価で は、
1:38:32	消えてるように見えるんですけども、
1:38:34	その理由が何かっていうのがちょっとわからないんで、
1:38:37	ご説明いただきたいと。
1:38:40	ということと、最後にそのようなですね、もう例がほかにないのか、全部今 回カバーしたのかっていうのを再確認という意味でコメントさせていただ きます。
1:39:10	九州電力の福山でございます。まず 1 点目につきましては承知をいた しました。記載振りといった形が良いかちょっと検討させていただいて、 提出をさせていただい
1:39:23	て、それと

1:39:29	2 個目の質問、ご指摘なんですけども、こちらは、こちらの整理は、記載が漏れておりましたけども、表を応力比でやっているもので 30 と 40 で、最後、
1:39:42	個数とした評価になってございます。
1:39:44	補足説明資料の中でも、全体の評価結果の整理を、別紙の中で、
1:39:52	規制の
1:39:54	認定させていただいておりますけども、
1:39:57	失礼しました。瀬下さん、しておりますけれども、
1:40:02	この考え方にのっとり。
1:40:05	動力費での評価っていうもののみの成立しております。したがって
1:40:10	今ご指摘いただいたようなUfを用いた評価については、
1:40:16	この個数としてございませんでした。
1:40:18	で、
1:40:21	となります。以上です。
1:40:25	規制庁鈴木です。今そちらの事情は、
1:40:30	説明いただきましたけど、こちらの
1:40:33	コメントはですね、そういう条件つけてないんですね、黄色い評価を除くとか、そういうのをつけないで、
1:40:40	包括的にまず違いがあればっていうのを整理してくださいっていうふう
1:40:45	に、
1:40:47	お願いしてたわけです。ですから、
1:40:48	で、
1:40:51	経緯はわかりましたけれどもやはりこの資料としては、
1:40:54	疲労の話も除くことなく、
1:40:56	そこもカバーした。
1:41:01	記載の充実というものをご検討いただきたいというふうに思います。
1:41:02	できればですよ。
1:41:06	本来その、この表の中はですね。
1:41:07	へえ。
1:41:15	理屈というかその違うその要因のようなものは書いていただいておりますが、本当はその数字ですね。
1:41:21	数字のその 30 年と 40 年の違いもここにダーッとこう書いてあれば、より、
1:41:26	いいんですけど、その辺どこまで書くかというのは、ちょっと
1:41:28	いろいろ、
1:41:30	事情もあるでしょうから、
1:41:30	少なくともできる範囲で、

1:41:33	もう拾うの。
1:41:34	評価は除かないで、ここに入れていただきたいと、いうふうに思います。以上です。
1:41:44	コメントの趣旨ちょっと取替取り違え講座がございまして大変失礼いたしました。ご指摘いただきました通り、まず疲労累積係数を用いた評価についての設計をするということと、
1:41:57	そういった観点で考えると他に追加すべきものはないかと。
1:42:01	いうチェックを再度いたしまして、再提出をさせていただきます。その他についても、
1:42:12	いや装置とか、
1:42:14	そっちのご指導をご提示させていただいてますので、そういったご質疑を踏まえて、追加で必要なものがございましたら、適宜提出をさせていただくということにさせ
1:42:25	思います。
1:42:29	規制庁通検査わかりました。では次の資料に移ってください。
1:42:41	それではコメントNo.の5番についてです。
1:42:45	こちらは図指導規定と投資給水系統の流れ加速型腐食に対する、採算性評価について、
1:42:53	2年目での評価との相違の理由を具体的に、
1:42:59	ました。
1:43:00	まず括弧1た一番に、主蒸気系と配管について、
1:43:05	分析をしております、結果については(1)に書いておりますけども表1に整理しております。後程ご説明をさせていただきます。
1:43:12	括弧2でその処理の理由について記載しておりますけども、
1:43:16	解析法がまず変更になっていると、いうことと、それに伴って、応力の最大日最大となる場所が、変更となりましたので、
1:43:26	それによる差が出てございます。
1:43:30	いただく。
1:43:32	いきますと、表の1のところ、すべて工期の30年目というオンダ評価結果の比較を、
1:43:41	大きく左側が30名の表、
1:43:43	右側、30年まで評価。
1:43:46	上段がBの収益計等の廃止でしヒガシで、下段が椎野集計タナカ。
1:43:54	黄色のレンズている箇所が評価書に記載をしている値となっております、
1:44:03	になっているところが、
1:44:05	動力費が変更になったことで、ケア記載する系統そのものが変わっている場所というものになる。
1:44:13	それから、参りますと、まず、B系統のSsの評価について、

1:44:18	これはもともととして、そのモーターでやってたものを、40年目においても同様の仕事をしておりますけども、新規規制基準の中で適用実績のある、
1:44:28	政治家の手法、具体的に申し上げますとサポートの剛性のプロジェクト分ますと、あとFRSの谷埋め、
1:44:35	交渉しております。
1:44:37	これはいずれの評価についても同様。
1:44:40	C系統についても、
1:44:43	同様となっております、その結果、評価の結果がそれぞれ異なる。
1:44:50	それによって、30年前投票の期待値が結構多くなっているというものになる。
1:45:02	越冬
1:45:03	それで、2番の主給水系統配管についてですけども、
1:45:07	こちらはこちらの表2のところに評価結果の整理をしております。こちらは主蒸気系統、1点違うところがございまして、そういう理由は、解析上の差異があるというところが一つと、
1:45:21	土佐、先ほどと同様に、
1:45:23	応力が最大となるでしょ。箇所が変更となる。
1:45:27	いうものはありますが、それに加えて、先ほどご説明をいたしました通り、材質を変更して行っております、それによる、そういう意味でございます。
1:45:36	その結果が、表の2、
1:45:41	見方としては先ほどと同じですけども、
1:45:46	先ほどと異なるところは、30年目の評価においては、A系に気色いずれについても時刻歴、
1:45:54	実施しております。
1:45:55	40年目の評価においては所得モデルを用いて評価をしているということで、全体的に数字の変更が起きております。
1:46:04	経験については、新規性での適用実績があるし、先ほど申し上げ、
1:46:11	しました設置化を行って、
1:46:14	またBC系については曲がり部を出そうか。
1:46:19	5件を実施すると。
1:46:22	承知していることから、
1:46:26	5番についての説明は以上です。
1:46:36	規制庁鈴木です。今のご説明についてちょっと1点コメントさせていただきます。
1:46:42	この今、資料にある表1表2の下の方にですね、米印で、

1:46:48	いずれの精緻化についても新規性基準認可時の耐震評価に適用実績ありとありますのでこれについても、ちょっとこちらの再確認という意味で、
1:46:59	該当する設工認の図書番号とタイトルをですね、
1:47:04	例示でもいいんですが、ここに付記していただきたいというのがあります。
1:47:09	それからあと確認事実確認なんですけど、
1:47:15	谷埋めとかですね。
1:47:17	の要因が書いてあるんですが、これって先行プラントの例だと、格納容器のナカがRCSの練成時刻歴解析で、
1:47:28	CVの外が谷埋め越長周期法人といったようなスペクトル解析と。
1:47:34	いうふうに理解してるんですが、それは
1:47:37	それでよろしいでしょうか。
1:47:51	九州電力の越川。
1:47:53	まず、
1:47:54	そして該当する都庁について追記をいたします。
1:47:59	もう一つ、
1:48:01	ありました。評価につきましてはご認識の通りCV化につきましてはスペクトルモーダル解析で実施しており、CV内の方に関しては、
1:48:17	規制庁、鈴木です。わかりました。
1:48:21	では次に移ってください。
1:48:24	ちょっと待ってください。
1:48:27	でも、四分ぐらいですよ。だから、だから、スペクトルになったんです。
1:48:33	政府の中は時刻歴、先行プラント、
1:48:38	Q値が違うところは、
1:48:41	RVが違う。
1:48:45	例えば、
1:48:46	SDの
1:48:49	ね。
1:48:51	木内は全然違いますよね。30、40年。
1:48:55	これ、卑弥呼、大井の方。
1:48:58	あと100で見るとしかない。
1:49:07	次お願いいたします。
1:49:18	承知いたしました。それでは、
1:49:21	6番に参ります。あとコメントの内容としましては、ツジオダ配管の流れ、
1:49:30	時と二次能力者が最大となる評価点。
1:49:34	というくださいね。

1:49:35	評価。
1:49:36	配置関係を具体的に示すことということで、
1:49:39	アイソメ図にそれぞれ、
1:49:44	入っていただいております法律の最大の最大を記載して、
1:49:49	ツジしております。
1:49:53	1ヶ月の分だけ大学で、
1:49:59	あります。
1:50:00	これ最大箇所■のと、
1:50:04	クラシックン囲みで示しております、
1:50:07	どうせ
1:50:08	Ufの最大パス能勢
1:50:10	また応力再ナカセ
1:50:12	もう一方のページについても、
1:50:16	図2の方が、B-SG、
1:50:21	になっておりまして、
1:50:23	その下、
1:50:24	清野のSM、
1:50:28	広野SSの評価なんですけども、予算はですね。
1:50:32	製造業のところで、DSFのSAの評価結果について、
1:50:37	お示しをさせ、
1:50:44	規制庁鈴木です。この資料について1点ちょっとご検討いただけないかという点があります。
1:50:51	それをですね、こちらの
1:50:54	タイトルですねコメントのタイトルの中に、
1:50:56	通常運転時、
1:50:58	間は地震時というふうに、
1:51:01	書かさせていただいてたんですけども、
1:51:03	回答は地震時ののみということでありました。確かにちょっとですね、流れ加速の特色を考慮した配管の評価で、通常の展示とは何ぞやという、
1:51:15	ちょっともし疑問があったのかもしれませんが、ここは少しです定義をちょっと。
1:51:21	付け加えさせていただいて、
1:51:23	へえ。
1:51:24	この減肉配管減肉の航路等、
1:51:28	合わせてですね。

1:51:30	仮にこの配管系統に減肉がないとした場合の、通常運転時の疲労評価の最大点はどこなんだろうなど。
1:51:39	6月の減肉評価Bとの兼ね合いでも同じだったり違ったりする。
1:51:44	可能性があるんですけど、その辺がどうかということ、この通常運転人による疲労評価についてもですね、評価点とその値というのが、
1:51:55	はい。
1:51:56	記載をお願いできないかなというふうに思います。以上です。
1:52:45	九州電力八木です。
1:52:47	今おっしゃられたのは、SCプロードアウンの、
1:52:52	強度評価を、どういう状態になってるかを追加してくださいということだと思います。
1:52:58	一方なんですけども、再稼働工認は、地震利変更に伴うSクラス。
1:53:06	対する評価を全般的に載せてます。
1:53:09	次、プロードダウン検討は、
1:53:13	おそらく該当すると思いますので、再稼働。
1:53:17	に記載されてない可能性があります、
1:53:21	猿田の共同化の再稼働の方付けてないことになりますので、
1:53:26	ちょっと建設工認とキーまで戻って、拾えるのかどうかというのをちょっと確認させていただいて、状況を見てご相談させていただければと思いますがいかがでしょうか。
1:53:37	規制庁、鈴木です。この資料のですね、アイソメの中に、
1:53:43	Ss地震評価を含んでですね、CVの外のCVB内は、Ss評価対象にしてるんで、
1:53:51	そということ、共同の方でも医療評価がなされてるのかなと思ったんですが、
1:53:59	わかりましたその線建設購入っていうか、そっちの方との兼ね合いで、
1:54:03	どのような状況にあるかっていうのは、
1:54:06	ご説明いただければそれでも結構です。
1:54:11	八木です。すいませんちょっと私が勘違いしました。確かにCVバウンダリーなので、耐震評価は、
1:54:18	実施してると思います。
1:54:20	ただ、強度の方は四級事項が変わってるってところで、やはり省略してる可能性もありますので、ちょっと調査させてください。
1:54:30	規制庁数字です。わかりました。
1:54:41	次お願いします。
1:54:45	ました。
1:54:47	7番に参ります。こちら先ほど1号機でしたが、今回2号機のSGブローのFSCに対する評価によって30年目。その勝利の理由を聞いて、

1:55:09	気持ちと整理結果を示しておりますので、ちょっとご説明いたしますと、
1:55:16	工程については、解析手法の差異と改造工事の全日空の影響を踏まえると代表系統が変更になった場所が、こういったことからそれが生まれているというふうになってございます。
1:55:26	1 ページにかけまして、
1:55:29	基本 1 名添え等相違を整理してございます。
1:55:34	まず、B 系統については、30 年目の評価の時、時刻歴の解析を行っていたということと、元空知について 41 年 5 期に空港を想定したと。
1:55:46	今ちょっと、
1:55:47	厳し目の評価をしてると、厳しいほうが結構
1:55:56	それらを踏まえまして、衛藤 30% の間で、改造を実施しております。
1:56:01	そのことから、
1:56:04	評価結果を公表が満足できるようになった。
1:56:07	ということで、
1:56:08	2 発についても必要最初は挿入の変更を行う。
1:56:11	抜粋。
1:56:12	ベッショ系統については、
1:56:17	多分、源様の手法を用いていて、
1:56:21	協力費としては同じ値となっておりますけれども、B 系統の値が変更になっていることで、1 ヶ所、30 年目で記載していた一次＋二次の応力の結果、
1:56:31	40 年目が採用されない。
1:56:34	ございます。
1:56:35	投票は、ご説明は以上となります。
1:56:41	はい。規制庁鈴木です。
1:56:43	ちょっとですね、この御説明について 1 点確認させてください。
1:56:48	今この表 1 というところを見ますと、
1:56:51	30 年目評価の時の、この赤枠のところですね、代表点が、
1:56:56	Ss 評価部位でシール部と、
1:56:59	ということなんですが 40 年目では、
1:57:02	赤枠がですね。
1:57:04	P ループの、
1:57:06	SG のに対する一次＋二次応力になってるんですね。
1:57:12	方 30 年は Ss での評価値、
1:57:17	対応するのが 40 年では SD のところに赤くなるんですが、これは植野 S S のところの E+2 のところに赤若生設ける必要が、
1:57:26	あるのではないかと思うんですがいかがでしょうか。

1:57:32	ご指摘の通りでございますので、ちょっと申し訳ございません、修正をさせていただきます、
1:57:38	規制庁都築です。わかりました。お願いします。
1:57:45	うん。じゃあ次お願いします。
1:57:55	はい。
1:57:56	わかりました。それでは次は、No.8にもあります。途中系統配管の次は貫通部の広がりに対する評価となっておりますJAB30年目との相違をし、示すこと。
1:58:09	コメントいただいております。
1:58:15	と同様に、表の形で整理しておりますけれども、(2)のところでもソリッド要因についての、
1:58:26	人はどうですかね、戸部副主査に陥る、運転実績に基づくアドバイスが増加した。
1:58:33	調査票はハットリ輸送というのがあります。
1:58:36	で、通常の展示の予算が同じ場合には詳細地のほ警報を代表として、
1:58:41	一連としての334番の評価結果が
1:58:47	武さんの結果をここに示して、
1:58:52	ページめくっていただきまして、表の1になります。
1:58:56	マッカーサー円形等については、設計建設部長、三宅さん。
1:59:01	を引っ張っております。30年も40年も同様な手法について計算しております。ただ、もう、
1:59:08	カトウ回数の変更がありますので34週で、
1:59:13	評価結果を超えるという結果
1:59:16	で、B系統についてですけれども、セト3件でも30時においては、
1:59:24	それぞれ両方の系統の計算をするのではなくて、駅厳しい評価なる箇所のを代表して評価をするということになっておる。
1:59:33	うんという整理をしておりましたので、B系統の評価をイシイ実施しておりませんでした。
1:59:39	その後の審査の整備等々を踏まえて、40年においては、B系統の絵の計算も実施しております、その結果、
1:59:48	の結果、
1:59:50	その結果、いずれのSSですね、いずれの評価結果についても、
1:59:55	厳しくなるということで、評価書の記載をやるという非互換
2:00:01	性以上となります。
2:00:04	はい。規制庁都築です。
2:00:06	今のご説明についてですね、2点コメントさせていただきます。
2:00:11	まずですね、この表1のところの、
2:00:14	数字なんですけれども通常運転時のところで、

2:00:19	Aループの方はですね、
2:00:21	今、0.021。
2:00:23	Bループも 0.021 で、
2:00:27	これだけだと、どっちもどっちって感じで、どっち大きいかわからないんですが、前のページのところを見るとAループっていうのは、
2:00:35	0.01985 ですから、切り上げで 0.20 になるんじゃないかと思うんですが今、この表示の方には 0.021 と書いてあります。
2:00:46	これ、0.020 じゃなくて 0.021 でよろしいんでしょうかというのが 1 点目です。
2:00:52	まずこれについてはいかがでしょうか。
2:01:00	はあ。
2:01:01	完全に今、昨日、
2:01:03	302 の方で、起動穿刺素案起動停止時の検査、評価値を出したら、
2:01:10	18 号になるんですけども、
2:01:13	通常運転時を計算する際に、もう切り上げの処理をいたしまして 0.
2:01:20	4、Tall です
2:01:22	機能停止時の基本をまず、4 と、起動停止時、
2:01:29	7 投票記載し、
2:01:30	等考えまして 0
2:01:33	に行くというふうな記載をさせていただいております。
2:01:36	例年の 304 の方も同様の整理で、機動性地上 0.09297 と書いてますけれども、0.
2:01:46	常勤理事会を 0.1 名、
2:01:50	地下を考えさせていただいて、Head、
2:01:52	実際技術評価書上は、
2:01:55	21 というふうな記載をしております。
2:01:59	実際の評価に評価というか計算に使った
2:02:02	AA、
2:02:04	を考えますと、
2:02:06	304 の方が大きな、
2:02:10	なりますので今回は、
2:02:13	結構、
2:02:16	はい。
2:02:18	おります。以上です。
2:02:21	規制庁鈴木です。ただですね、これ今ある、
2:02:25	事情はわかったんですが、この資料だけ見ても、それは全然想像もつかないんですね。何 00. 同じ数字の 0.021、

2:02:35	取り扱いについては今ご説明あった通りなんで、それではですねこの表 1 の下の方にですね、注記を打って、
2:02:43	前のページの数字だけでもこういう切り上げをした結果、見てたらやると、どっちも 0.021 になったよというのが、
2:02:51	表の下に注記をを行って、わかるように記載の充実を図っていただけますか。
2:02:59	承知いたしました。表 1 の方に注記を打って、今ご説明した内容を反映したいと思います。以上です。
2:03:06	はい。2 点目のコメントなんですが、
2:03:10	確かにPLM耐震という意味ではですね、
2:03:14	技術評価側での
2:03:18	いう最大値のところで、
2:03:21	地震時のUf足し算をするということになると思うんですが、ただこの今表示だけを見るとですねどっちもどっちなんですよね。で、
2:03:31	技術評価がわずかに変わったために、地震時の余裕が、
2:03:36	今までのAループだったのが 0.944 というのは、
2:03:40	Bで、谷川社長にあたかも何か改造工事か何かかなされて下がったように、
2:03:48	見えてしまうんですね評価書上そっちの数字しか出てきませんので、
2:03:52	それではですね、実際の耐震を考慮した、
2:03:57	塀、
2:03:58	数字の吟味という意味ではですねちょっと足りないと思うんです。ですから、この補足説明資料の方には今、代表値しかありませんけれども、
2:04:09	そこにですね、通常運転時の、いうMACCSのところが高齢、一方地震時のリーマックスのところはこうだというのに、
2:04:20	すなわち、胸の 302 と 304 の結果をですね、併記しておいていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
2:04:33	中でプラップでございます。ご指摘承知いたしました。補足説明資料に反映をさせていただきます。
2:04:43	はい。場所については、ちょっと持ち帰って検討いたしますが、別紙の 4 のあたりが、今の状況ではないかと思っております。
2:04:53	各班への作りまして、ご提示をさせていただきます。以上、わかります。
2:04:59	規制庁杉ですわかりました。
2:05:03	次をお願いします。
2:05:42	規制庁藤川です。すいません。
2:05:44	音声が届いてないんですが、
2:05:47	今発言されてますでしょうか。
2:05:50	申し訳ございません。マイクを切ってございました。
2:05:54	また、ちょっと最初から説明させていただきます。

2:05:58	9 番についてです。
2:06:01	としましては余熱除去系統配管のアンカーサポートの、
2:06:05	広場に、
2:06:06	会社安全性評価についての 30 年目との比較。
2:06:10	ございました。
2:06:12	比較の結果については表の 1 で整理しております。
2:06:15	その理由については、改造によって、パイプクラブの変更を行ったことと、パッドとラグの溶接がクドウプレートの溶接部の、この溶接の手法を変更してくれましてその影響によるそれが前でございます。
2:06:32	いただきまして、
2:06:34	表の 1 節で
2:06:37	こちらの評価の対象としてまずオールエイジの
2:06:40	1-1 号となっております。
2:06:43	上から評価部位ートパッドパッドトラック
2:06:47	とか、
2:06:47	フラットプレート、それぞれの、
2:06:50	等、
2:06:52	3 年目の評価の手法と 40 年目の評価の手法を比較で示しております。
2:06:57	私としましては、荷重の足し合わせが、30 年度はSRSSやったのが、40 年目では絶対に行った。
2:07:06	いうことは、前、
2:07:08	すべての場所について、
2:07:10	そういうのを理由としとなっていくということと、先ほど申し上げた改造を行っているということと、パッドトラフ。
2:07:19	プレートについては、溶接の手法をスミニクから完全
2:07:23	へこみをせず
2:07:25	いうことで、評価のそれぞれの応力比、一次の結果、一次+
2:07:35	になってございます。以上です。
2:07:39	規制庁都築です。ご説明わかりました。ただですね、この実際のですね、現物をですね、
2:07:49	現地調査。
2:07:50	近いんですね。
2:07:52	作業指示書等、
2:07:54	もう含めて、現場確認させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。
2:08:02	九州電力の福山でございます。承知いたしましたその方向で、
2:08:07	準備させ

2:08:12	ご相談させていただく事項が、
2:08:16	別途ご連絡をし、
2:08:21	成果を続けて、次のご説明をお願いします。
2:08:30	はい。10番。
2:08:33	前の基礎ボルトのメカニカル赤とケミカルアンカ。
2:08:37	に想定される経年劣化事象の表中の材料が30年と40年で、相違をしております、その理由について具体的に説明すること。
2:08:47	もうコメントでございます。
2:08:50	めくっていただきまして、添付資料の1が1号、
2:08:58	シバタ2が日本の列島整理結果となっております。
2:09:03	泊1号炉から参りましてスタッドボルトについては変更はございません。
2:09:09	につきましては30年目。
2:09:11	評価においてはcf動等ティアフォルトいずれについてもステンレス等を記載しておりましたが40年のお金は削除しております。
2:09:20	30年の評価においては、ステンレス焙焼されてる場合は小材料として、そのまま記載をして、
2:09:30	先月は腐食評価の対象外であるということで、40年の評価においてはこの記載しないという整理にしてございました。
2:09:40	寄付等の整理との整合性を考えますと、これは記載する方が適切というふうに考えますので、
2:09:47	ご指摘を踏まえてコメントによる政府の結果を踏まえまして、追記をさせていただきたいというふうに考えている場所になってございます。
2:09:56	それでケミカルアンカーについてですね、受振のところで30年目のところでは記載をしていなかったよ。40年目のみ記載をされている趣旨が三つございまして、
2:10:06	例えばビニールエステルとビニールレターを岸オノさん物の実施を、40年目評価だけ記載をしております。
2:10:14	で、これは30年目の評価においては、仙台に神戸の、
2:10:22	川内2号炉のご審査の中で、あとコメント対応として、この三菱、
2:10:29	追求をしていたといった形があって、
2:10:32	あったようなんですけども、その内容をちょっと一部大きい反映ができていなかったということで、この最後の丸でございます。
2:10:41	詰めまして議論、アノというスタッフの佐伯でございます。
2:10:47	またやっぱ規制の実施についてはもう、津波監視カメラにて保障されるものになるんですけども、この設備はもう日本設置の1号機共用設備である。
2:10:57	ということで、
2:10:59	これは1号機の評価書には、衛藤。

2:11:04	別冊での整理をするのではなくて、共用設備での整理をすべきであるというものになりますので、当該箇所からアクセスほことが適切と考えまして、評価書から削除するという、
2:11:16	要はもう対応をとらせていただきたいと思います。
2:11:21	またアンカーボルトについては同様、サノ先ほどと同様でステンレスとか 30 年目フタミに記載されておりますので撤去いたします。
2:11:29	あと、米印で記載しておりますけども、その川内 2 号機の 30 ページの 30 けど反映事項、本当の
2:11:36	当社から提出をしているコメント回答資料の番号を記載しております。
2:11:43	2 号機についても、基本的な動きと同様になっているんですけども、まずエミカンバラ自身のところで、先ほどの説明の中にあつたように、N 30、
2:11:54	の時から、先ほどの三つの節について記載しておりますので、
2:11:58	の状態での作業はございませんと、炭化物のところにもたレスポ 30 年度に記載がされている状況になってますので、こちらについては追記をさせていただきます。
2:12:11	組合長となります。
2:12:14	規制庁鈴木ですちょっと再確認なんですが、この今表を見て、
2:12:20	例えばPM32 円。
2:12:23	あつた鮮烈行がPM40 で消えてるけれども、40 でも先月コウノことを記載すると。
2:12:30	或いは一方、ケミカルアンカのところの告知自身は今 40 年のところに副主事が書いてあるけれども、それは削除すると。
2:12:40	ということでよろしいですか。
2:12:43	九州電力の福山です。ご認識の通りとなります。
2:12:48	それは、それでは宗今後の
2:12:51	報告書の補正とかがあつた場合にはそういうことに反映するという、
2:12:56	ちょっと理解しました。
2:13:02	電力の福山でございます。ご指摘いただきました通り補正の際に、対応させていただきますというふうに考えてございます。
2:13:18	次、お願いいたします。
2:13:25	11 番に参ります。コメントの内容としましては、CVの最高圧力と最高使用温度について関係性を具体的に提示する。
2:13:36	ということと、評価運動における縦弾性係数について、こちらについても再交渉との関係性を具体的に提示すること。
2:13:45	という、まとめていただいております。まず
2:13:49	CAMS最高圧力及び所属の関係についてですけども、
2:13:57	伸縮継ぎ手能力の中で最高出力による暴力、ご参集をいたしますけれども、

2:14:04	この辺りとしてはCVの再交渉する、いわゆる日本語パパパ炉心
2:14:11	なおこの縦弾性件数、
2:14:13	の選定については保守的になるように、Cvの再交渉運動、
2:14:19	次のアノ値ではなくて、評価温度 21 度における値をしております。
2:14:26	ゴルフのサービスについては下に示しております。この 21 度における値を用いるのがなぜこの保守的なのかというところを、米印で記載をしておりますけども、
2:14:37	応力の算出 II の際に、お客弾性係数 1 で表記しておりますけども、これを用いますけども、このご希望がとしたのは、
2:14:48	見ていただきますと、その暴力がおっきくなるということでこれ、これは評価として欲しいけど、
2:14:56	評価運動の 21. Cvの勝負 291 度における縦弾性係数については、21 度における、
2:15:05	清家さんの方が大きくなる。
2:15:07	ということで、この伸縮継ぎ手の評価においては、最終的には相当、総合的に判断すると、保守的に 20、21 度における薄弾性欠損ちゅうのが適切というふうを考えているものとなって、
2:15:20	ちょっと
2:15:22	文章でいただいたコメントでしたので、我々で想像して、
2:15:27	イトウを作成させていただいているところございますので、
2:15:31	足りないところと、ありがとうございました。
2:15:35	ちょっとなります。
2:15:41	規制庁の日高です。これで結構です。
2:15:45	先に進めてください。
2:15:54	追加しました。それで、12 番となります。参照する規格の名称を確認することといったコメントでした。
2:16:02	こちら先ほどどういう文書でいただいてまして、ページ数の記載がございましたので、今回、
2:16:09	ご指摘いただいた箇所を見て、確認いたしましたところ、
2:16:14	嘉門、
2:16:15	関弓削が減衰定数の設定に用いる
2:16:18	まま弱のヤノ 01 時
2:16:21	必死でございましたが、
2:16:23	名取Japp時あつ府の方 401 が適切になりますので修正を行います。
2:16:30	1 号機の話でございます。
2:16:32	2 号機については
2:16:34	最初に記載しておりましたので、
2:16:39	以上となります。

2:16:41	コメントございません。
2:16:51	そうしましたら、耐震安全性評価の方はこれにて終了となりまして、続けて津波評価の方に移らせていただいてもよろしいでしょうか。
2:17:02	そうでございます。
2:17:05	他、やはりコメントございません。
2:17:13	シートを使うんですね。
2:17:16	1点とか2点確認なんですけど、
2:17:18	コメントNo.の間は、
2:17:21	この整備の仕方をバックアウトですね。
2:17:24	のところは整理の1、
2:17:27	地下化を変えて今後見直しますということで、
2:17:30	よろしいですか、ということと、あと、江藤米田のが12番の方のは、沖ですということで、
2:17:39	よろしいですか。では10番の方は誤記ではなくて整備のし直しをしますという説明で、12番は誤記ですというご説明だったと思う。よろしいですか。
2:17:49	九州電力の藪でございます。ご認識いただいている通りとなります。
2:17:54	冒頭については、その適正な整理を見直すということと、順番については、その位置でございますので、記載を適正化させていただく。
2:18:03	両方の方にさせていただくと。
2:18:08	はい、わかりました。
2:18:12	はい、では、次耐津波の方に進めてください。
2:18:19	発言がありまして九州電力の石谷から回答資料についてご説明させていただきます。
2:18:27	お手元にコメント反映整理表耐津波の分の昨日提出し、
2:18:31	いただきました資料、ご用意をお願いいたします。
2:18:35	コメントで現在2件いただいております、ナンバーワンから説明させていただきます。コメント内容といたしましては、仙台2号の補足説明資料、
2:18:46	ページにおきまして、
2:18:48	津波監視カメラ、
2:18:51	網が記載されており、
2:18:53	I耐震評価書の最大強化時と同じ数値を用いていると。
2:18:59	慎重かつ耐津波評価しては、補修の打ち上げ異なることを考えられるか問題ないか、内訳と最大許容荷重の関係を追記し、
2:19:08	説明することという、ご出席をいただいております。まず最大許容荷重のちょっと御説明ということ認識を共有させさせていただきたい。

2:19:17	お手元に、川内 2 号炉の補足説明資料をご用意いただけますでしょうか。
2:19:24	はい。
2:19:26	はい。
2:19:29	11 ページ。
2:19:31	城山筒井と合わせていただきます。2 段落目、
2:19:35	赤ちゃんターボ各ボルトサイズの設計書の最大許可上定めており、
2:19:42	また演者の荷重がボルトに作用しないように施工されている、こういったものが最大許可受という、
2:19:49	この耐津波評価におきましては、
2:19:52	津波監視カメラに使用されていると、あとジャンパについて、この最大級荷重が仮にか、津波時に発生した場合というのを仮定しまして、ボルトの腐食放流した揚力評価を実施しております。
2:20:05	浅井代表課長の地域応力比というのが、表の 6。
2:20:09	記載してございます 0.8、失敗が 0.81 船団が平成 86、
2:20:15	評価を実施してございます。
2:20:20	この活動資料、このコメントに関する感度回答としましては、この最大許容荷重とリストに津波を想定した場合の発生荷重というのを比較を、
2:20:30	入れさせていただいております。回答資料の方確認いただき、
2:20:36	1 号炉で、評価の 1 という会の資料になっております。
2:20:41	こちらの内容につきましては、仙台の再稼働工認、
2:20:46	すでにご審査いただいております津波監視カメラの強度計算書の内容につきまして、回答資料に再編したものになってございます。
2:20:57	タバタの資料。
2:20:59	つきましては、各仕様を記載してございます。
2:21:03	荷物に緑化条件としましては、この津波監視カメラは周囲に設置されておりまして、
2:21:10	その外から僕、
2:21:14	イエイよりコスト割れていることから直接ハウジョウやそれに伴う漂流物による影響を受けることは考えにくいと。しかし津波の保守的な評価として、
2:21:24	入力津波情報による波力及び表、主漂流物の衝突の組み合わせ等を考慮した評価を実施してございます。また、デジ及び雪荷重につきましては、
2:21:37	鉛直方向性のみ。
2:21:39	でございまして基礎ボルトに生じる曲げモーメント及びせん断力や寄与しない直接寄与しないため、
2:21:46	保安検査において考慮する荷重というのは 1 キタニ失礼しております。

2:21:52	組み合わせの通りとしております一つ目が珠洲遡上班による波力、二つ目が漂流物による衝突、
2:22:00	三つ目が、風荷重となっております。
2:22:03	順番に、一つ目からご説明いたします遡上範囲は力、①ということで、採用する津波荷重を説明しております。
2:22:14	カメラはAスズキ台設置されていることから、
2:22:18	じょうの高さは海水ポンプエリアの遡上班による、その高さというのを考慮しております。
2:22:24	最終はPPAと式で、
2:22:28	3 ページの表記しております通り、計算しております。
2:22:35	参加、
2:22:37	見聞牽制水圧荷重に換算しております具体的には、添付 1、後ろの方にございますが、西根ストーリーのイメージと示す通り果樹の計算を想定しております。
2:22:54	兵庫に、2 ページ目の表の 2 をご参照ください。
2:22:58	こちらが遡上津波の荷重のスタンス条件となっております。
2:23:07	3 ページ後はお願いします。
2:23:09	長さんにおきまして、各部位ごとに計算しております。
2:23:15	3ヶ所分荷重を、
2:23:17	表記しております。
2:23:20	右側のせん断力と曲げモーメントを算出している状況になります。
2:23:26	次に(2)漂流物の衝突保守、
2:23:29	移りいたします。恐れ入ります。こちらはCCコールの式で算出しております。
2:23:39	磯俊和圧条件。
2:23:42	表 4 に、それ表用の表の 4 に、
2:23:46	相模梶野さん地上権及び表 5 に、算出結果を示しております。
2:23:57	5 ページをお願いいたします。
2:24:00	風荷重といたしまして、TK＝という形の試算し式によって算定しております。
2:24:09	今日の 6、風荷重の算出条件、
2:24:13	表の 7 にその結果を示しております。
2:24:20	7 ページにご確認をお願いいたします。
2:24:26	でね、作成いたしました、現場を見るというせん断力を表-8 に整理しております、
2:24:33	基礎ボルト、
2:24:34	臨床時荷重というのを、表の 8 が一番下の列。
2:24:38	上に、

2:24:39	してございます。
2:24:41	(2)、その基礎ボルトに生じる荷重といたしましては、
2:24:46	(エ)括弧Bの式で、それぞれ引張場受
2:24:51	樋せん断荷重を算出しております。
2:24:55	最終的にボルト一本あたりにショウジュ、斜作用する引張荷重、Pワンと いうのを求めております。括弧Bのせん断荷重におきましては、
2:25:07	最終的に9は、ボルト一本当たりのせん断荷重というのを算出しており ます。
2:25:13	表の9は、その荷重計算に用いる条件を示しております。
2:25:23	9ページ目、ここにお願いいたします。
2:25:27	前ページまでで視察しました、津波時に発症しますか。
2:25:31	どうぞ。
2:25:32	先ほどご説明いたします。
2:25:37	表の中にお示ししてございます。
2:25:41	津波評価の際は、
2:25:45	最大強化中、
2:25:48	コバヤシ田さん記載代表が30。
2:25:51	評価する必要がございますので、この
2:25:55	秋最大強化10と、
2:25:57	先ほどまで、
2:25:58	算出した、いたしました。では、
2:26:01	というのを比較します。
2:26:04	清さん。
2:26:07	におきまして、
2:26:08	タバタの発生荷重が短期最大級荷重を下回っていることを確認しており ます。
2:26:16	ような評価の中の評価におきまして、
2:26:19	津波監視カメラのソフト評価においては、最後許容荷重が津波に発生し た場合、発生することは保守的な評価となっております。
2:26:31	以上で、コメントNo. 1に対する回答の説明が終わります。
2:26:36	コメントでございますでしょうか。
2:26:41	規制庁鈴木です。コメントありません。次にですね、移ってください。
2:26:48	九州電力の石谷です。次のコメント回答いたします。3番数としまして、 浸水防護施設の概要。
2:26:57	津波監視装置が小さくて見えない拡大図を示すこと。
2:27:02	ございます。

2:27:04	以上のコメントとなっただきまして、ちょっと説明資料の別紙 1、5000 次。
2:27:12	としまして、津波監視カメラ、失礼いたしました。
2:27:18	津波監視設備の配置という形で、拡大図を追記させていただいております。
2:27:28	地方 2 号、それぞれ追記したし、してございまして、1 号 2 号炉の差異としましては、2 号設置、
2:27:37	12 号共用の津波監視カメラが 2 号炉のみ補助してございます。
2:27:44	ポイントナンバーズに関する回答は以上となります。コメントごさいますでしょうか。
2:27:52	規制庁日高です。特にございませぬ。先ほどのですね、
2:27:57	衛藤。
2:28:01	市野。
2:28:04	評価の、
2:28:05	中で、
2:28:07	津波監視カメラの評価の中で、
2:28:10	マッピングされてる箇所が幾つか散見されるんですけども、
2:28:16	江藤必要以上にマスキングされていると、いうふうにも感じますので、もう少しこのマスキングについて、衛藤再度検討していただけますでしょうか。
2:28:30	九州電力の石谷です。
2:28:32	をしていただきました。
2:28:35	変えまして、
2:28:36	弊社が来まして、パスキル箇所を改めて精査
2:28:40	だければと思います。
2:28:44	他に何か。
2:28:53	規制庁側から何か、
2:28:55	質問、コメント他に、
2:29:02	こちらから特にありません。九州電力さんから何かありますか。
2:29:25	九州電力さんから何か。
2:29:27	補足等あります。なければ、
2:29:30	ヒアリング終了したいと思います、
2:29:34	フクヤマ当初から、
2:29:39	わかりました。規制庁藤川です。じゃあ、本日のヒアリング、
2:29:44	以上です。
2:29:46	終了したいと思います。
2:29:47	ありがとうございました。

